We are one ～みんな、ひとつ～

2011-2012 熊澤隆樹ガバナー年度

大震災救援奉仕プロジェクト委員会

活動報告書

作成日：2012/07/04

1．「放射線測定器」2011 年 8 月 29 日

2．「飯舘村車両支援」2012 年 1 月 19 日（木）

4．「福島キッズキャンプ in 北海道」春編
2012 年 3 月 27 日（火）～4 月 1 日（日）

3．いわき海星高等学校「P 旗」プロジェクト支援贈呈式 2012 年 6 月 19 日（火）

目次

委員会組織.....1
１．成り立ち.....1
２．2011-2012 年熊澤ガバナー年度.....1
３．開催委員会.....2
４．2012-2013 細川ガバナー年度の組織.....2
マッチンググラント（MG）を用いた大震災救援奉仕プロジェクト.....3
１．「放射線測定器」.....3
1.1　背景及び目的.....3
1.2　支援の概略.....3
1.3　資金.....3
1.4　贈呈式.....4
２．飯舘村車両支援事業.....5
2.1　背景及び目的.....5
2.2　資金.....5
2.3　贈呈式.....5
３．海星水産高校の校舎復旧支援プロジェクト.....6
3.1　目的.....6
3.2　内容.....6
3.3「いわき海星高校復興支援プロジェクト」進捗報告（2012/3/20）.....7
3.4　いわき海星高等学校「P 旗」プロジェクト支援贈呈式.....7
3.5　「P 旗」.....11
４．「福島キッズキャンプ　IN　北海道」春編.....12
4.1　背景及び目的.....12
4.2　参加者.....12
4.3　スケジュール.....12
4.4　組織.....15
4.5　事前説明会.....16
4.6　RID2510 での歓迎・お別れ会.....17
4.7　アーカイブ.....22
4.8　予算及び決算.....25
4.9　参考記事（2012 年 4 月号）.....25
５．「福島キッズキャンプ　IN　北海道」夏編（予定）.....25
.5.1　スケジュール　＜6 泊 7 日＞.....25
5.2　募集.....26
5.3　キャンプ場　道立砂川少年自然の家（ネイパル砂川）.....26
5.4　予算.....26
5.5　期待されるロータリアンのお手伝い.....26
6.「福島アンダー18 マイクロバス検査登録支援事業」プロジェクト.....26

6.1　目的 26
6.2　予算 27
6.3　贈呈式 27
※地区支援金支出のまとめ 27
※支援金に関して 28
１．2011-2012 熊澤ガバナー年度の支援金 28
２．次年度に引継ぎ可能金額 28
※支援ストラップ 28
３．クラブ別支援金まとめ 29
資料目次 30
１．NEWS 30
２．Memo 30
３．熊澤ガバナー月信 30

委員会組織

１．成り立ち

本委員会は、2011 年 3 月 11 日（金）に発生した東日本を中心にした大地震の被害を受けた地域に対する支援を模索しようと、震災の 13 日後の 3 月 24 日（木）に佐々木ガバナー、熊澤ガバナー・エレクトが指名したメンバーが参集し、『・・・ロータリーもまた私たちの思いの中で、どのような救援の方策があるのか、検討するために特別委員会を設置した。充分施策を練り、全クラブあげて支援活動を行うことを願いたい。・・・』との佐々木正丞ガバナーの挨拶後に、名称、委員構成、今後の方針等の意見交換をし、少なくても、佐々木ガバナー年度、熊澤ガバナー年度、細川ガバナー年度の 3 か年は活動する必要との認識を共有した。

そこで、佐々木ガバナーと熊澤ガバナー・エレクトの連名で、「東日本大震災に対する復興支援について」と題して、関係各位（クラブ会長、ガバナー補佐、地区委員長等）に対して以下の内容で送付された。

1.新設委員会　（1）名　　称　RID2510 大震災救援奉仕プロジェクト委員会
（2）委員長　阪崎健冶朗社会奉仕委員長
（3）副委員長　堀江ＩＣ委員長、柳新世代委員長
（4）委　員　山本職業奉仕委員長、清水次期社会奉仕委員長、
手塚次期国際奉仕委員長
橋本地区幹事、井上次期地区幹事

2.活動内容

(1)被災地の状況から復興にはかなりの時間を要すると思われるので、中期的な視点で取り組むこととし、当面は義援金を募ることに力点をおきたい。

(2)物資の支援については、委員会が被災地の地区やゾーンとも相談して、所要の時期と物資が判明次第に行動する。

(3)各クラブならびにロータリアンが何らかの救援活動を実施された場合は、必ず当委員会にご一報をいただきたい。姉妹関係へのクラブに支援された場合も同様にご連絡をお願いしたい。

(4)各クラブが義援金の募集をする際には、無理のないようにご計画を立て（例えば粗餐会やイベントの際の募金、チャリティなど)、工夫を凝らして実施していただきたい。

(5)復旧支援は長期にわたると予想されるので、関係機関とのネットワーク構築、情報収集、広報活動等に力点をおき、アクションプランを策定する。

２．2011-2012 年熊澤ガバナー年度

熊澤ガバナーのもと、上記の 2.活動内容（1）～（5）に加えて
（6）支援金目標額　年度 1,000 万円（5000 円/人）とすること。
とした。

ただし、これは支援金（現金）を被災地に送ることが主眼ではなく、「被災地ロータリークラブと当地区の共同事業資金」に充当するものであることをご理解願いたきこと。
を確認した。

「共同事業資金に充当」を意識して、マッチンググラント（MG）申請はさけては通れないとの認識

から、地区財団委員会の協力が不可欠のため、下記の委員会構成で発足した。

◎阪崎健治朗（札幌西）	奉仕プロジェクト委員会委員長
○堀江和美（砂川）	広報・IC 委員会委員長
○柳　孝　一（札幌幌南）	新世代委員会委員長
山本雅昭（苫小牧北）	職業奉仕委員会委員長
清水　哲（札幌東）	社会奉仕委員会委員長
手塚貴志（白老）	国際奉仕委員会委員長
井上　晃（小樽）	地区幹事
出村知佳子（札幌北）	ロータリー財団委員会委員

なお、当然ながら杉江代表幹事はすべての会議に参加頂いた。

３．開催委員会

第 1 回目：2011 年　3 月 24 日（木）	午後 2 時～4 時
第 2 回目：2011 年　4 月 21 日（木）	午後 2 時～4 時
第 3 回目：2011 年　5 月 31 日（火）	午後 2 時～5 時 30 分
第 4 回目：2011 年　6 月 15 日（火）	午後 3 時～4 時 30 分
第 5 回目：2011 年　7 月　7 日（木）	午後 3 時～4 時 30 分
第 6 回目：2011 年　8 月 26 日（金）	午後 3 時～5 時
第 7 回目：2011 年 10 月　3 日（水）	午後 4 時 30 分～午後 5 時 30 分
第 8 回目：2011 年 11 月 22 日（火）	午後 3 時～午後 4 時 30 分
第 9 回目：2012 年 1 月 7 日（土）	午後 2 時～４時 30 分
第 10 回目：2012 年 2 月 27 日（土）	午後 2 時 30 分～午後４時 10 分
第 11 回目：2012 年 4 月 12 日（土）	午後 2 時～午後 3 時 30 分
第 12 回目：2012 年 6 月 10 日（日）	午後 5 時 30 分～午後 6 時

４．2012-2013 細川ガバナー年度の組織

◎阪崎健治朗（札幌西）	奉仕プロジェクト委員会委員長
○堀江和美（砂川）	広報・IC 委員会委員長
○柳　孝　一（札幌幌南）	新世代委員会委員長
山本雅昭（苫小牧北）	職業奉仕委員会委員長
清水　哲（札幌東）	社会奉仕委員会委員長
松原重俊（砂川）	国際奉仕委員会委員長
出村知佳子（札幌北）	ロータリー財団委員会委員
杉江俊太郎（小樽）	地区幹事
中山弘三郎（静内）	地区代表幹事

マッチンググラント（MG）を用いた大震災救援奉仕プロジェクト

１.「放射線測定器」

1.1　背景及び目的

2011 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」の被害地域の一つである第 2530 地区（福島県）内の南相馬市（緊急時避難準備区域）を 2011 年 6 月 10 日（金）に、佐々木ガバナー、熊澤ガバナー・エレクト、出村地区財団委員、竹原札幌北 RC 会長、佐々木札幌北 RC 幹事、佐々木札幌北 RC 職業奉仕委員長と堀江当該副委員長の計 6 名で、被災地の方々からの生の声を聴き、どのような支援ができるかを探るべく視察訪問をした。

被災地の方々の生の声（ニーズ）を聞き、「見えない恐怖」の放射線に対しての被爆量制御はもちろんのこと、心のケアーに貢献できるものと強く感じため、「放射線測定器」を 120 台寄贈することとした。＜熊澤ガバナー月信 2011 年 7 月号参照＞

1.2　支援の概略

※チーム

チームとしては、①須賀川ぼたん RC、②郡山西 RC、③札幌北 RC、④Bangkok Klonthey RC、⑤Nongkhai RC、⑥RID2510、⑦RID2530 である。

※「放射線測定器」120 台の内訳

下表の通りである。

１．台数及びチーム

項目	台数	申請番号	チーム
MG 申請　須賀川ぼたん RC	27	#75435	Sukagawa Botan RC D2530、RID2510、Sapporo North RC D2510 、Bangkok Klongtoey RC D3350
MG 申請　須賀川ぼたん RC	30	#75439	
MG 申請　郡山西 RC	60	#75441	Koriyama West RC D2530、RID2510、Nongkhai RC D3340
MG 申請外	3	－	
計	120		

ノート

①R 財団に申請→②R 財団でチェック→③R 財団から仮許可連絡→④R 財団から許可（アナウンス）→⑤実行

須賀川ぼたん RC①＋：MG 申請　須賀川ぼたん RC①（27 台）に 3 台追加

1.3　資金

資金は、測定器購入費（792 万）＋その他（23 万）の総額 815 万円である。815 万円の構成は、1）R 財団　387.6 万、2）RID2510DDF　269.8 万、3）札幌北 RC　64.0 万円、4）地区支援金から 94 万となった。

1.4　贈呈式

2011 年 8 月 29 日（月）に、福島県の須賀川ぼたん RC,郡山西 RC の保育所・幼稚園等で贈呈式が行われた。参加メンバーは、当地区から、熊澤ガバナー、久保田地区直前代表幹事、高橋札幌北 RC 会長、竹原札幌北 RC 直前会長、佐々木札幌北 RC、若原札幌東 RC 国際奉仕委員長、出村財団委員、堀江の 8 名、RID2530（福島）から、根本ガバナーを含め 15 名、そして、タイ王国からラティーマ女史（ノンカイ RC）を含め 3 名であった。

贈呈品として、原子力発電所、核燃料や核成分施設、核廃棄物処理施設、放射線源管理、核医学、環境モニタリング組織向けに特別に設計された商品名「DoseRAE 2」の測定器 120 台（説明書は和訳、ストラップ付）と、タイ王国の子ども達の絵とメッセージが用意された。

贈呈は 1）郡山市大成保育所、2）郡山市ニコニコ子供館、3）福島県郡山養護学校、4）特別養護老人ホーム「愛寿園」の 4 つの会場で行なわた。＜熊澤ガバナー月信 2011 年 10 月号参照＞

※郡山市ニコニコ子供館での贈呈式

※ラティーマ女史　タイ王国の子ども達の絵とメッセージを贈呈

２．飯舘村車両支援事業

2.1　背景及び目的

計画的避難地域に指定された飯館村は除染作業を行うにしろ、離れた場所にある仮設住宅の住民の方達との連絡を取るにしても大変不便な状況にあり、想像以上に苦悩が続いている。少しでも日常生活がスムーズに進むよう「地域住民の生活改善の手段として車両２台」を提供した。

2.2　資金

総額：450 万円（R 財団：100 万円＋RID2510DDF：50 万円＋地区支援金：300 万円）

2.3　贈呈式

2012 年 1 月 19 日（木）贈呈式が行われた。当地区の参加は、熊澤ガバナー、杉江代表幹事、山本大震災救援奉仕プロジェクト委員会委員、出村委員（申請第 1 連絡者）である。

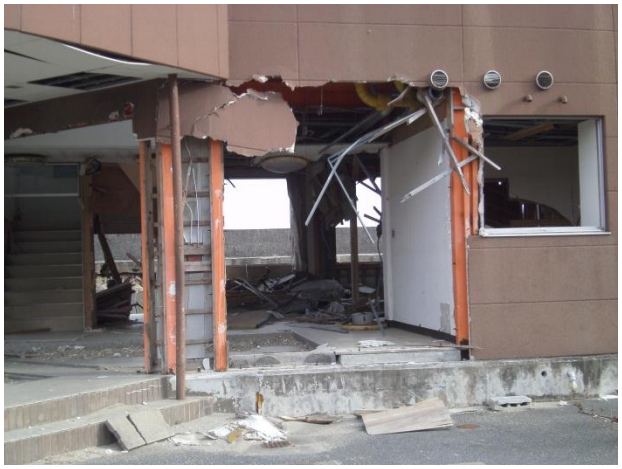
＜熊澤ガバナー月信 2012 年 2 月号参照＞

３．海星水産高校の校舎復旧支援プロジェクト

3.1　目的

被災地の貴重な水産業復活のための若き指導者育成の高校校舎の復旧活動に支援の要望が高まり、ロータリー関係機関も重要と位置づけ、規模を拡大して支援した。

現地の視察は、2012 年 1 月 19 日に、熊澤ガバナー、杉江代表幹事、山本大震災救援奉仕プロジェクト委員会委員、出村委員（申請第 1 連絡者）が行った。＜熊澤ガバナー月信 2012 年 2 月号参照＞



3.2　内容

学校名　：いわき市海星水産高校。

復旧部分：校舎の 1 回部分の修復と教育機器などの整備支援

①校舎 1 階部分のサッシ窓ガラス復旧支援

理由：校舎への立ち入り制限及び物品の保管並びに盗難防止のため、警備会社によるセキュリティを導入するために必要。

②生徒会部活動用具・物品支援

理由：生徒、保護者の会費による自主財源によって買い揃えた物品が流失。県費によることができなく、部活動に支障が出ているため。

復旧経費：総額　2,300 万円（RID2510 は 400 万円）

協力地区・クラブ

・いわき小名浜 RC、RID2530（福島）
・イギリスロータリー財団
・寒川 RC（神奈川県）、多摩川東 RC
・郡山西 RC、RID２５１０（北海道西部）

3.3「いわき海星高校復興支援プロジェクト」進捗報告（2012/3/20）

この度の復興支援金は地区を通じご入金賜りました事まずもってご報告申し上げます。
北海道西部地区の皆さまの温かいご支援に対し厚くしお礼申し上げます。

いわき海星高校もロータリー支援のサッシの決定を受けコンパネ等で被災窓を覆い仮の警備環境にて 12 月生徒を本校に戻し被災の逃れた 2Ｆ～4Ｆの教室にて新学期を迎え授業を行っております。
体育、実習等の科目は他校にて、環境に変化はいまだございません。

ロータリーの主な支援プログラムは 3 月末にて今年度の支援は終了する予定でございます。

4 月～5 月には支援のセレモニーを予定したしておりますので、その節は是非新緑のいわき市小名浜へご参加頂き、西部地区の皆さまとの交流を深めたいと考えております。
本日は大変遅くなりました報告のお詫びと、プログラムの進捗についてご報告申し上げます。

いわき小名浜ロータリークラブ
東日本復興支援「Ｐ旗」プロジェクト委員会
委員長　草野洋治

3.4　いわき海星高等学校「P 旗」プロジェクト支援贈呈式

いわき海星高等学校「P 旗」プロジェクト支援贈呈式が 2012 年 6 月 19 日（火）に挙行された。

※参加者

RID2530(福島)

第 2530 地区（福島）ガバナー　根本一彌
第 2530 地区　地区幹事　石田　弘
第 2530 地区ロータリーの友地区代表委員　安藤元二
いわき小名浜 RC 会長　菅原　寛
いわき分区ガバナー補佐　橋本芳家
郡山西 RC 会長　高橋金一

RID2510（北海道西部）

第 2510 地区（北海道西部）ガバナー　熊澤隆樹
2012-2013 年度地区代表幹事　中山弘三郎
第 2510 地区大震災救援奉仕プロジェクト委員長代理　堀江和美

※次第

司会：いわき小名浜ロータリークラブ復興支援『P 旗』プロジェクト事務局長　蛭田修二
14：00　　会長挨拶　　いわき小名浜ロータリークラブ会長　菅原　寛
14：03　　実施地区ガバナー挨拶　　第 2530 地区（福島）ガバナー　根本一彌

14：07　支援地区ガバナー挨拶　第 2510 地区（北海道西部）ガバナー熊澤　隆樹
14：10　被災から復興へ『P 旗』の歩み　いわき海星高校より
14：50　目録贈呈
第 2510 地区(北海道西部）ガバナー熊澤　隆樹　様
第 2530 地区（福島）ガバナー、根本一彌　様
郡山西ロータリークラブ会長、高橋金一様
いわき小名浜ロータリークラブ会長、菅原　寛　様
14：55　謝辞
いわき海星高校校長　沢尻京二様
生徒会代表　鈴木紺色様
14：58　贈呈式閉会　司会
14：59　記念撮影
15：05　生徒会による『じゃんがら念仏おどり』披露
15：30　いわき海星高校　発

司会：蛭田修二

熊澤ガバナー挨拶

参加者紹介

いわき海星高等学校の皆様

被災から復興へ『P 旗』の歩みの説明 	被災から復興へ『P 旗』の歩みに聞き入る
目録贈呈 	目録贈呈
「浮き輪ストラップ」をいただく 	浮き輪ストラップ

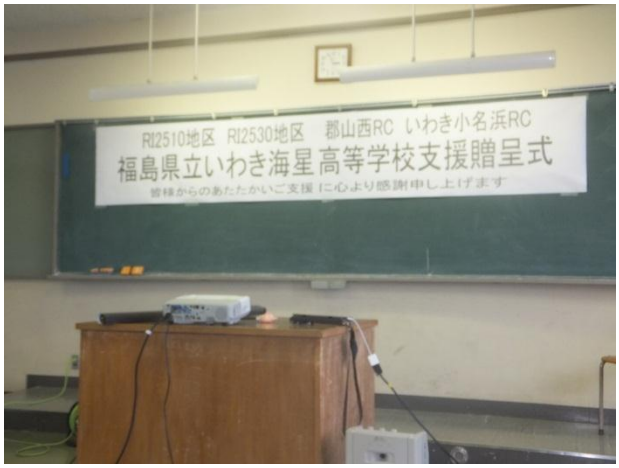
謝辞　いわき海星高校校長　沢尻京二様

謝辞　生徒会代表　鈴木紺色様

謝辞　PTA 会長

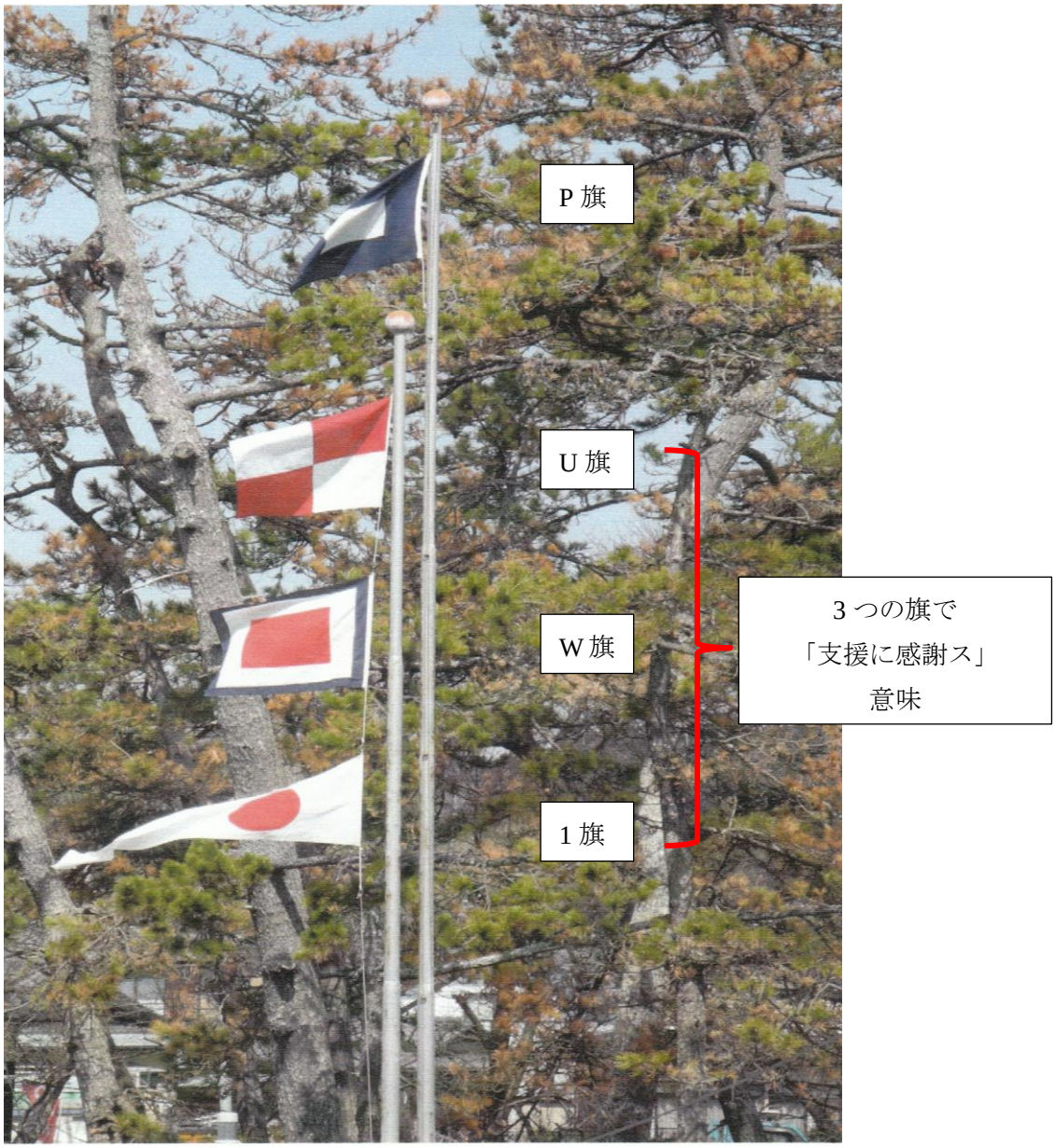
『じゃんがら念仏おどり』

看板



いわき小名浜ロータリークラブ例会

3.5 「P 旗」



P 旗

国際信号旗 （こくさいしんごうき、international maritime signal flags）で定めた旗の掲揚を繰り返すことで、文章も含めた通信を行なう方法の中の 1 つ。

意味として、「出航準備中にて乗務員は帰船せよ。」

４.「福島キッズキャンプ　IN　北海道」春編

4.1　背景及び目的

福島県内では子供達が放射能汚染の影響から外で遊ぶことができず、常に内部放射能の危険に常にさらされている。

このような子供達に、春・夏休み期間中という短い期間であるが、キャンプ期間中、放射能の危険性の少ない北海道で過ごし、この期間危険を回避していただくとともに、少しでも、目に見えない「放射線」の恐怖を和らげていただくことを目的とする。

4.2　参加者

計画的避難地域に指定された飯館村の子供たちは、各人が離れた場所にある仮設住宅に住むことを余儀なくされ、従来のような一堂に会する機会が少ないとも聞いている。このようなことにより、飯舘村の子供達を中心に募集をし、60 名以上の募集の中から飯舘村の子ども達（小学校 4･5･６年生）33 名、ボランティア大人 1 名、福島大学生ボランティア 4 名を招待した。

4.3　スケジュール

1 日目：2012 年 3 月 27 日（火）

時刻	プログラム	備考
8：30	福島駅 西口　集合	
9：00	福島駅 西口　出発、福島空港へ	
10：30	福島空港着	
11：30	福島空港発	
12：50	千歳空港着	空港 2FJAL 中出発：12：00
13：30	千歳空港から小樽運河へ	
14：40	小樽運河着	14：40～14:55：記念撮影
14：55	小樽経済センタービルへ移動	（旧：日専連ビル）
15：15～ 16：30	「開会式&歓迎会」 ＜15：15～16：30＞	15：15～潮太鼓　歓迎 15：20～開会宣言（司会者） 15：25～15：30 熊澤 G 歓迎挨拶 15：30～15：35 各クラブ紹介（司会者）

		15：35～16：00 各会長挨拶（3 分／人） 16：00～16：10 谷内 AG 記念品贈呈・挨拶 16：10～16：15 子供代表者挨拶
16：30	小樽発	
17：00	キロロリゾート到着	
18：00	夕食	
19：30～	入浴	
21：00	就寝	

2 日目：2012 年 3 月 28 日（水）：キロロリゾート

時刻	プログラム	備考
7：00～	朝食	
8：30～	スキーウェアー、靴、スキー用具の準備	
10：00～	スキースクール　午前の部開始	
12：00～	ランチタイムと休憩	
13：30～	スキースクール　午後の部開始	
15：30～	レクレーション又は、雪遊び、休憩など	
18：00	夕食	
19：30～	入浴	
21：00	就寝	

3 日目：2012 年 3 月 29 日（木）：キロロリゾート

時刻	プログラム	備考
7：00～	朝食	
8：30～	スキーウェアー、靴、スキー用具の準備	
10：00～	スキースクール　午前の部開始	
12：00～	ランチタイムと休憩	
13：30～	スキースクール　午後の部開始	
15：30～	レクレーション又は、雪遊び、休憩など	
18：00	夕食	
19：30～	入浴	
21：00	就寝	

4 日目：2012 年 3 月 30 日（金）

時刻	プログラム	備考
7：00～	朝食	
8：30～	荷物の整理をして、ロビーに集合	
9：00	ホテル　出発、小樽へ	
10：00～	小樽水族館　見学	
12：00～	昼食（かもめ亭）	おたる政寿司株式会社　代表取締役社長　中村全博、『小樽すし屋通り寿司店有志』
13：00	小樽出発　札幌へ	
13：40～ 15：10	白い恋人ファクトリー　見学　、クッキーに絵を描く	
15：30～ 17：00	大倉山展望台、札幌スポーツミュージーアム	
17：30～ 19：00	夕食	
19：30	ホテルロイトン着	
20：00～	入浴	
21：00	就寝	

5 日目：2012 年 3 月 31 日（土）

時刻	プログラム	備考
7：00～	朝食	
8：00～	ミサンガラリーの説明と準備	8：30 受付
9：00～	さっぽろミサンガトライアングル 3 カ所を探検 ①時計台、②テレビ塔、③大通り公園	北海高校インターアクト 要領は別紙
11：30	④ラーメン共和国･札幌駅ビックカメラ）	
12：30	北海道四季劇場「ライオン・キング」入場	
13：00～ 16：00	「ライオン・キング」鑑賞	13:20 福島ボランティア 1 部と北海高校インターアクト、ロータリーボランティアは、テレビ塔等観光やビッセ休憩ティータイム及びさよならパーティー打ち合わせ
16：30	⑤中島公園ホテルライフォート(ゴール）ミサンガラリー　ゴール	第 4・第 5 グループ合同インターシティーミーティングで歓迎
18：00～	地下鉄＋徒歩でホテルロイトン到着	18：00「 閉会式&想い出会 」準備開始
18：30～	「 閉会式&想い出会 」	1.熊澤ガバナー挨拶

20：00	楽しかった想い出を絵馬に書こう！	2..福島キッズキャンプビンゴゲーム 3..絵馬とタイの子供たちへのメッセージカード作成 (写真スライド：担当堀江) ・本人絵馬内容紹介 4.福島ボランティアの皆さんから一言ずつ 5.インターアクトの皆さんから感想と激励メッセージ ※次第順序は変更の可能性あり
20：00～	入浴	
21：00	就寝	

6 日目：2012 年 4 月 1 日（日）

時刻	プログラム	備考
8：00～	朝食	
9：00～	荷物の整理をして、ロビーに集合	
10：00	ホテル　出発	見送り班は 9：50 ロイトン札幌ホテル集合
10：30～ 11：40	北海道神宮着　昨日書いた絵馬を飾ろう	
11：50～ 12：30	円山動物園に到着（昼食）	
12：30～ 15：00	円山動物園見学	
15：00	円山動物園　出発、千歳空港へ	
16：00	千歳空港着	
17：00	全日空４７８５便にて福島空港へ	
18：50	福島空港着	
19：30	福島空港出発、福島駅へ	
21：00	福島駅西口着、解散	

4.4　組織

実行委員長	清水　哲　（地区大震災救援奉仕プロジェクト委員）
副委員長兼会計	出村　知佳子（R 財団東日本震災復興基金事業第一連絡者）
副実行委員長	斉藤　昌一（地区国際奉仕委員、産経海外旅行社）
委員	阪崎　健治朗　（地区大震災救援奉仕プロジェクト委員長）
委員兼会計	堀江　和美（R 財団東日本震災復興基金事業第二連絡者）
委員	杉江　俊太郎（地区代表幹事）
顧問	岩城　秀晴（地区ロータリー財団委員長）
	石谷　邦彦（第４グループガバナー補佐）
	齊藤　康嗣（第５グループガバナー補佐）
	谷内　馨一（第６グループガバナー補佐）

なお、対外的は、2510 地区総括 : 出村知佳子（札幌北 RC)、2530 地区総括 : 安藤 元二（福島郡山西）の二氏。

4.5　事前説明会

とき：2012 年 3 月 17 日（土）10：00～11：30

ところ：コラッセふくしま（福島駅西口）

（参加者側）参加者出席 29 名、保護者出席 26 名、ボランティア 3 名（＋１名は保護者兼実質 4 名）

（主催者側）飯舘村教育課愛澤課長様

2530 地区　石田地区幹事（当地区でいう代表幹事）,安藤災害支援本部事務局

小平ガバナー事務所事務局員

2510 地区　清水実行委員長,出村統括、斎藤委員,

産経海外旅行　福田専務、チラシ・横断幕作成　星さん（以上９名）

実施要領

※事前に受付にてお名前等の確認及び保険証コピー等を預る。

（進行：安藤災害支援本部事務局）

Ⅰ．開会挨拶　　送り出しロータリー（2530 地区福島）　石田幹事

Ⅱ．キャンプ実施について挨拶　　飯舘村教育課担当者　　愛澤課長　様

Ⅱ．キャンプ概要説明　　（株）産経海外旅行　斎藤委員　より

１．全般説明　、２．必要書類記入、３．質疑応答

Ⅳ．閉会挨拶　　受け入れロータリー（2510 地区北海道西部）　清水委員長

①御挨拶については、多くの応募がありましたので、選考により皆さんが参加できるということ、（元気に風邪を引かないで来てください等、心のこもった御挨拶が皆様よりありました。）

②説明については斎藤委員から、北海道地図を用いて、キロロ、小樽、札幌の説明もされ、参加者は地図で場所を探しながらのとてもわかりやすい説明があり、ルールを守ることに大切さもしっかり伝えて頂きました。

③必要書類の記入　キロロでのスキーレベル、レンタル、同意書、キャンプでの同意書、等

④質問事項については、荷物の大きさ等が出ましたが丁寧に説明して頂きましたので、あまり多くの質問は出ませんでした。

※終了後ボランティアとの打ち合わせ実施

行程の説明、福島キッズキャンプ IN 北海道の意向（人道的な事業の観点からの考え方での基本対応）が説明されました。

確認事項：欠席の 4 名（うち 1 名北海道在住）については旅行社よりフォローを頂く。

4.6　RID2510 での歓迎・お別れ会

・千歳空港着－2012 年 3 月 27 日（火）

実行委員会メンバー、地区幹事、千歳セントラル RC の方々に温かく迎えられた。

「開会式＆歓迎会」－2012 年 3 月 27 日（火）

15：15～潮太鼓　歓迎

15：20～開会宣言（司会者）

15：25～15：30 熊澤 G 歓迎挨拶

15：30～15：35 各クラブ紹介（司会者）

15：35～16：00 各会長挨拶（3 分／人）

16：00～16：10 谷内 AG 記念品贈呈・挨拶

16：10～16：15 子供代表者挨拶

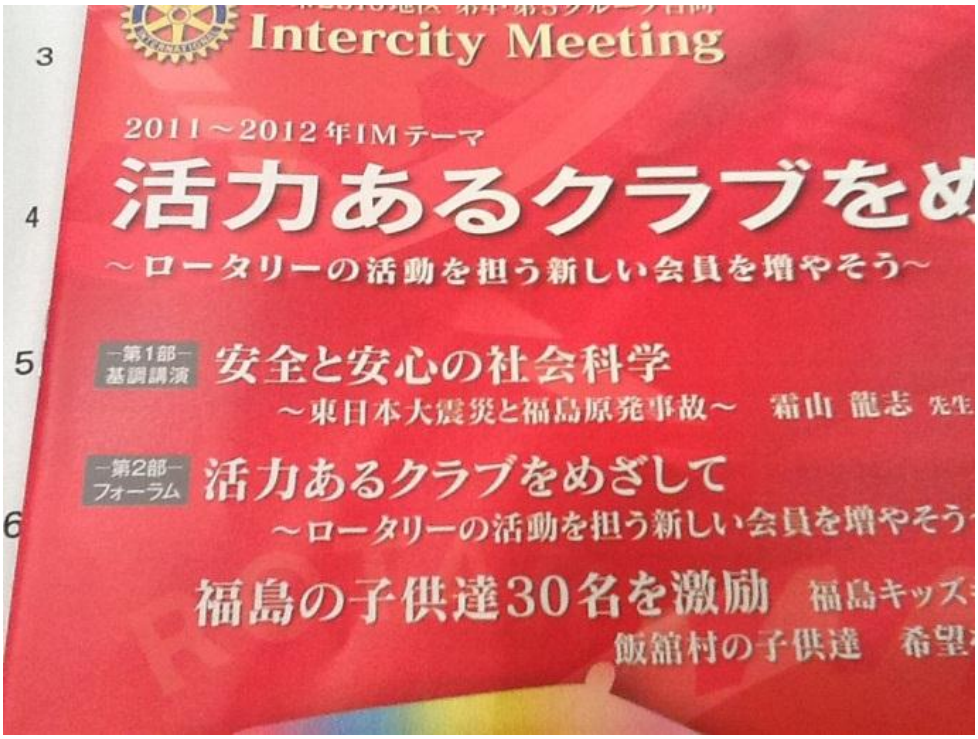
『私たち福島県飯舘村の小学生 33 名は北海道で思いっきり元気に遊ぶことを誓います。』なる宣言をした。

・政寿司における小樽寿司堪能－2012 年 3 月 30 日（金）

おたる政寿司株式会社　代表取締役社長　中村　全博及び『小樽すし屋通り寿司店有志』の方々から提供のお寿司を堪能した。

・第 4・第 5 グループ合同インターシティーミーティングで歓迎－2012 年 3 月 31 日（土）

第 4・第 5 グループ合同インターシティーミーティングにおいて、タイトなプログラムの中で、子供達を歓迎していただいた。



・「 閉会式&想い出会 」－2012 年 3 月 31 日（土）

熊澤ガバナー、杉江代表幹事、岩城財団委員長、谷内 AG、斎藤 AG、石谷 AG の出席を得て、「 閉会式&想い出会 」を開催。

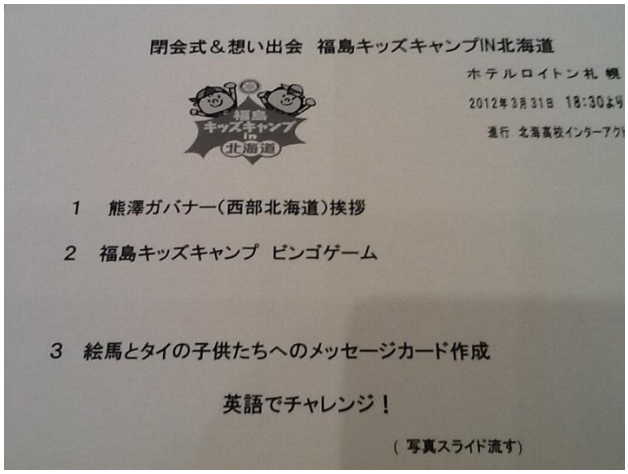
熊澤ガバナー挨拶

岩城財団委員長挨拶

安藤元二福島側統括の乾杯挨拶

ボランティア挨拶

式次第



インターアクトの皆さんから

・ロイトン出発－2012 年 4 月 1 日（日）

札幌北 RC、岩城財団委員長、斎藤 AG の出席を得て、記念写真撮影後に見送りした。

4.7　アーカイブ

フォトとムービーのアーカイブは以下の通り。（DVD で保管）

4.7.1　フォトその 1（0.27GB）

フォルダー	項目	枚数
000 説明会準備	スタッフ名刺.jpg	1
	旗.JPG	1
	小樽打ち合わせ.jpg	1
	説明会.JPG	1
	T0	4
001 日目 0327	101 日目 101 福島駅	19
	102 福島駅→福島空港	7

	103 福島空港	32
	104 福島空港→千歳空港	22
	105 千歳空港	35
	106 千歳空港→小樽	14
	107 小樽運河	28
	108 歓迎会	45
	109 小樽→キロロ	13
	110 キロロ	69
	111 スキー準備	5
	T1	289
002 日目 0328	201 キロロ朝	6
	202 スキー授業 A	78
	203 スキー授業 B	10
	204 自由時間	52
	205 キロロ夕	36
	T2	182
003 日目 0329	301 報道	2
	302 スキー授業	23
	303 自由時間	37
	304 キロロ夕	12
	T3	74
004 日目 0330	401 キロロ朝	10
	402 キロロ→小樽水族館	7
	403 小樽水族館	177
	404 政寿司	77
	405 白い恋人ファクトリー	139
	406 大倉山	41
	407 焼肉ばんけい苑	24
	408 ロイトン	4
	T4	479
005 日目 0331	501 ミサンガラリースタート	16
	502 ミサンガラリー①テレビ塔	48
	503 ミサンガラリー②大通り	9
	504 ミサンガラリー③時計台	9
	505 ラーメン共和国	41
	506 地下鉄移動	21
	507 ライオンキング	1
	508G4・G5IM	6
	509 閉会式前	9
	510 閉会式・想い出会	53

	511 閉会式後	4
	T5	217
006 日目 0401	601 絵馬	55
	602 ロイトンお別れ	19
	603 北海道神宮	71
	604 円山動物園	17
	605 千歳空港	9
	606 福島空港	6
	607 福島空港から駅バス車内	2
	608 福島駅西口到着	11
	T6	190
総合計		1435

4.7.2　フォトその 2（小樽 RC　浜田氏撮影）148MB

シーン	枚数
105 千歳空港	19
107 小樽運河	1
108 歓迎会	89
403 小樽水族館	75
404 政寿司	71

4.7.3　アルバム（パワーポイント形式）（0.79G）

ファイル名	枚数
第 1 日目.pptx	124
第 2 日目.pptx	136
第 3 日目.pptx	52
第 4 日目.pptx	288
第 5 日目.pptx	125
第 6 日目.pptx	96

4.7.4　ムービー＜主に福田さんが撮影（1.30GB）＞

ファイル名	サイズ（MB）	時間
101 福島空港	61.0	1 分 35 秒
102 機内アナウンス	130.0	3 分 18 秒
103 小樽運河	42.1	1 分 06 秒
104 潮太鼓	70.4	1 分 04 秒
105 キロロ到着	80.0	2 分 03 秒
201 スキー教室	71.9	1 分 51 秒
401 小樽水族館	138.0	3 分 43 秒

402 政寿司	37.6	1 分 01 秒
403STV どさんこワイド	33.5	1 分 11 秒
404 白い恋人ファクトリー	39.3	1 分 03 秒
405 大倉山	68.7	1 分 50 秒
406 焼肉バンケイ	43.3	1 分 09 秒
501 ミサンガラリー	44.4	1 分 12 秒
502 ライオンキング終了	20.9	0 分 36 秒
503 第 4・5 グループ IM	185.0	4 分 37 秒
504 閉会式	173.0	4 分 22 秒
601 ロイトン最終日朝食	19.0	0 分 33 秒
602 北海道神宮	72.0	1 分 51 秒

4.8　予算及び決算

申請総額 1,000 万円（①地区支援金：450 万円、②RID2510DDF：400 万円、③R 財団 150 万円）。

なお、本事業は RID2530（福島）との共同事業として位置づけされたため、福島県内の募集等の経費を RID2530（福島）から 200 万円を追加が見込まれている。このため、総額で 1,200 万円の予算規模となる。

項目	春編	夏編
申請金額：1,000 万円	539 万円	461 万円
RID2530（福島）：200 万円	52 万円	148 万円
計：1200 万円	591 万円	609 万円

春編にて、591 万円の支出であったため、夏編に、1,200－591＝609 万円を引き継ぐことになった。

4.9　参考記事（2012 年 4 月号）

・福島キッズキャンプ in 北海道春編報告
・『福島キッズキャンプ in 北海道』 第 6 グループ活動報告
・第４・第５グループ合同ＩM開催報告

５.「福島キッズキャンプ　IN　北海道」夏編（予定）

.5.1　スケジュール　＜6 泊 7 日＞

1）2012 年 8 月 17 日（金）フェリーⅠ:いしかり仙台発 19：40→苫小牧着翌日 11：00
2）2012 年 8 月 18 日（土）、19 日（日）、20 日（月）、21 日（火）：砂川ネイパル宿泊（4 泊）
3）2012 年 8 月 22 日（火）フェリーT:きたかみ苫小牧発 19：00→仙台着翌日 10：00
4）2012 年 8 月 23 日（水）仙台着 10：00

5.2　募集

招待者：飯舘村小学生 5・6 年生 40 名、＋　福島大学ローターアクト
募集 期間 ：2012 年 6 月 10 日（日）～2012 年 7 月 2 日（月）
現地 説明会 説明会 ：2012 年 7 月 22 日（日）予定

5.3　キャンプ場　道立砂川少年自然の家（ネイパル砂川）

道立都市公園「北海道子どもの国」内の東端に位置する標高１１５ｍの原生林内にあり、春は広葉樹の新緑に始まり、緑の木々に歌う野鳥の美しいコーラス、夏は３００種に及ぶ野草の可憐な花が咲き乱れ、秋は松を彩る周辺一体の紅葉、そして、冬は白銀の大世界と四季折々の美しい雄大な自然に恵まれた施設です。　また、「北海道子どもの国」の各種施設が周辺に配置され、ハイキングコース、展望広場、ヤッホーの森、ふしぎの森などを活用できる環境にある。

5.4　予算

上述したように、609 万円。

5.5　期待されるロータリアンのお手伝い

ロータリアン ：第 1G、第 2G、第 3G、ロータ ーアクト
お手伝 いの内容
1）ウエルカム交流会 ウエルカム交流会 ウエルカム交流会 ウエルカム交流会 ウエルカム交流会 （春編 第 6G 参照 ）
2）砂川の子供達交流会 砂川の子供達交流会 砂川の子供達交流会 砂川の子供達交流会 砂川の子供達交流会 IN 「ゆう」
3）バー ベキュバー ベキュバー 用海鮮物差し入れ
4）旭山動物園案内
5）さよなら交流会

6.「福島アンダー18 マイクロバス検査登録支援事業」プロジェクト

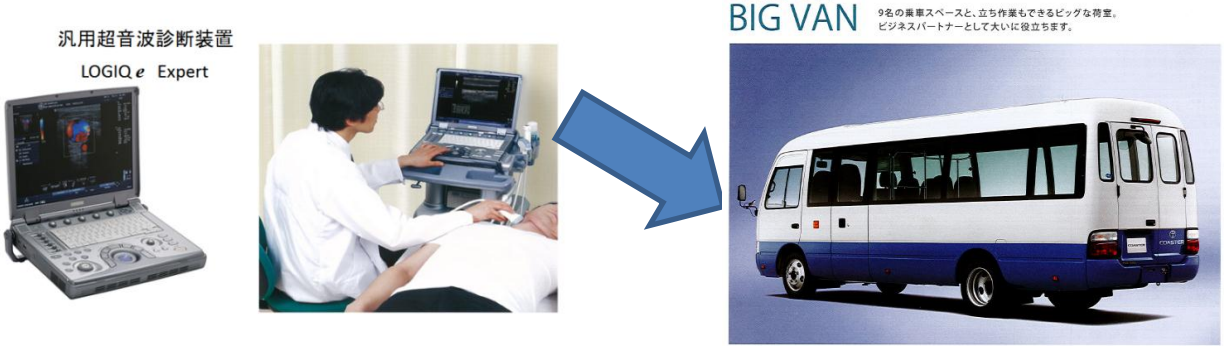
6.1　目的

福島県内で福島第一原発事故当時 18 歳以下であった青少年達は、チェルノブイリ事故でも４、５年から急激に甲状腺小児がんが増えた実情もふまえ、将来的に、甲状腺がん発生への不安を抱える現状がある。

今まで施行されていなかった甲状腺の検査を行うことにより、ゆっくり育つ甲状腺がんが偶然に早いうちに多く発見されることも考えられてくる。

昨年 11 月より県による検診が開始されたが、全ての対象となる子供達の検査をするには多くの時間がかかり、震災及び原発事故から１年がたつ今、このように対象青少年の最初の検査登録の効率を上げ、初期の登録を促進し本人及び両親の不安の解消と現時点での現状を把握し、今後長期に渡る福島県民の甲状腺がん増加がないことを確認していく礎として必要かつ重要と考えられる。

様々な場所に分散している対象者の検査効率をあげることの高い重要性を基本に、これを促進する為のアンダー18 検査.登録の為の移動検査車両（マイクロバス）を設置していく。



6.2　予算

総額 750 万円（①地区支援金：250 万円、②RID2510DDF：320 万円、③R 財団補助金：100 万円、④RID2530 地区支援金：80 万円）

6.3　贈呈式

2012 年 8、9 月中に贈呈式を行う予定である。

※地区支援金支出のまとめ

事業名	総額	地区支援金	備考
1.放射線測定機器	815 万円	94 万円	R 財団：387.6 万 RID2510DDF：269.8 万 札幌北 RC：64.0 万円
2.飯館村支援車両	450 万円	300 万円	R 財団：100 万円 RID2510DDF：50 万円
3. 海星水産高校の校舎復旧支援プロジェクト	2,300 万円	400 万円	
4.福島キッズキャンプ IN 北海道	1,000 万円	450 万円	R 財団：150 万円 RID2510DDF：400 万円
5. 福島アンダー18 マイクロバス検査登録支援事業	750 万円	250 万円	R 財団：100 万円 RID2510DDF：320 万円 RID2530 地区支援金：80 万円
計	5,315 万円	1,494 万円	

大きく育つ係数：5,315/1,494＝3.56

「ロータリー東日本震災復興基金」による MG は 20122012 年 3 月に締め切られました。このため、2012 -2013 年度は通常の MG となる。

※支援金に関して

１．2011-2012 熊澤ガバナー年度の支援金

1）クラブからの支援金：10,737,137 円(64 クラブ)

2）浜辺と海をきれいにする会：100,000 円

3）地区広報・ＩＣ委員会：22,000 円

4）10・11 ｸﾞﾙｰﾌﾟ内クラブ寄付(ｺﾞﾙﾌ)：116,660 円

5）ＪＧＦＲ北海道大会(ｺﾞﾙﾌ)：103,000 円

6）貯金利息：1,491 円

計　10,737,137 円＋100,000＋22,000＋116,660＋103,000＋1,491＝11,080,288 円

目標金額：1,000 万円（達成率 111％）

２．次年度に引継ぎ可能金額

★入金

1）2010-2011 年佐々木正丞ガバナー年度：20,663,603 円

2）2011-2012 年熊澤隆樹ガバナー年度：11,080,288 円

総額：31,583,891 円

★出金

0）ガバナー会寄付：1,722,500 円

1）放射線測定器：940,480 円

2）飯館村車両：2,998,700 円

3）いわき海星水産高校の校舎復旧支援プロジェクト：4,000,000 円

4）福島キッズキャンプ：4,500,000 万円

5）福島アンダー18 検査・登録移動車両支援プロジェクト：2,500,000 円

6）支援ストラップ：500,000 円

計　1,722,500＋940,480＋2,998,700＋4,000,000＋4,500,000＋2,500,000＋500,000＝17,161,680 円

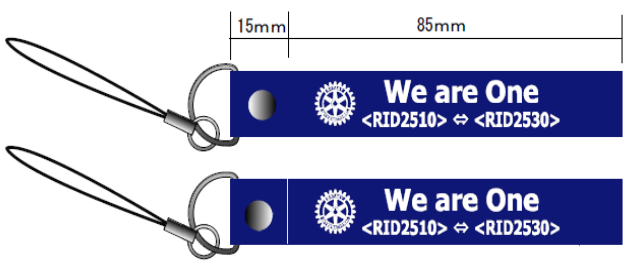
備考　1）～6）計：940,480＋2,998,700＋4,000,000＋4,500,000＋2,500,000＋500,000＝15,439,180 円

★引継ぎ金額：31,743,891－17,161,680＝14,582,211 円

※支援ストラップ

購入本数：2500 本（購入費 50 万円）　　サンプル数：118 本 , 販売総数：1962 本 , 残数：420 本

販売総数：1962 本：45 クラブ(1940 本),地区大会ブース(22 本)、



クラブ別のまとめは別紙の通り。

３．クラブ別支援金まとめ

G	クラブ	支援金	ストラップ
1	深川	203,580	40,000
	羽幌	200,000	0
	妹背牛	10,000	10,000
	留萌	23,615	0
2	赤平	112,000	0
	芦別	124,000	10,000
	砂川	50,000	50,000
	滝川	60,000	60,000
3	美唄	170,000	20,000
	江別	1,020,000	20,000
	江別西	670,000	30,000
	岩見沢	420,000	80,000
	岩見沢東	118,000	30,000
	栗沢	115,000	0
	栗山	100,000	0
	当別	96,700	0
4	札幌	670,000	130,000
	札幌あけぼの	0	0
	札幌はまなす	110,000	20,000
	札幌北	340,000	40,000
	札幌モーニング	126,800	30,000
	札幌西	0	0
	札幌西北	135,000	0
	札幌手稲	166,287	40,000
5	札幌東	469,391	90,000
	札幌清田	98,000	20,000
	札幌幌南	291,000	50,000
	札幌真駒内	98,000	60,000
	札幌南	442,000	0
	札幌大通公園	60,000	10,000
	札幌セントラル	0	0
	新札幌	140,000	10,000
6	岩内	300,000	0
	倶知安	0	0
	小樽	310,000	70,000
	小樽南	300,000	300,000
	小樽銭函	80,000	80,000
	蘭越	0	0
	余市	140,000	40,000

G	クラブ	支援金	ストラップ
7	千歳	50,000	50,000
	千歳セントラル	30,000	30,000
	恵庭	96,000	0
	北広島	10,000	10,000
	長沼	20,000	20,000
	由仁	10,000	10,000
8	えりも	30,000	30,000
	三石	20,000	20,000
	様似	0	0
	静内	200,000	0
	浦河	0	0
9	伊達	40,000	40,000
	室蘭	331,000	0
	室蘭東	160,000	0
	室蘭北	90,000	20,000
	登別	0	0
	洞爺湖	60,000	10,000
10	函館	76,375	30,000
	函館亀田	284,115	110,000
	森	22,260	0
	七飯	87,210	0
	長万部	52,337	10,000
	函館セントラル	310,325	30,000
11	江差	26,347	0
	函館五稜郭	195,382	40,000
	函館東	142,666	0
	函館北	94,767	10,000
	北斗	29,275	20,000
	松前	1,855	0
12	白老	89,450	30,000
	苫小牧	214,650	50,000
	苫小牧東	87,400	0
	苫小牧北	106,350	30,000

項目	支援金	ストラップ
クラブ数	64	45
金額	10,737,137	1,940,000

資料目次

１．NEWS

Vol.00 南相馬市視察報告 2011/06/11
Vol.01 東日本大震災に対する復興支援について（その 1） 2011/07/11
Vol.02「放射線測定器 120 台」贈呈プロジェクト 2011/08/11
Vol.03「高田まつばら物語」購入・英訳プロジェクト 2011/08/11
Vol.04　贈呈された「放射線測定器」 2011/09/11
Vol.05「放射線測定器」贈呈式 2011/09/11
Vol.06　東日本大震災に対する復興支援について（その 2） 2011/09/05
Vol.07「浜辺と海をきれいにする会」からご寄付 2011/09/14
Vol.08「支援ストラップ」購入のお願い 2011/10/11
Vol.09 皆様の支援金は大きく育ちます。 2012/02/22
Vol.10 福島キッズキャンプ　IN　福島＜春編＞ 2012/02/27
Vol.11 室蘭北ＲＣ「気仙沼津波被害　児童・生徒楽器支援事業」 2012/03/22
Vol.12「福島アンダー18 マイクロバス検査登録支援事業」プロジェクト 2012/03/27
Vol.13 福島県いわき海星高等学校支援贈呈式 2012/06/20

２．Memo

Vol.01 ガバナー会東日本大震災義援金その 1、 2011/08/21
Vol.02 ガバナー会東日本大震災義援金（その 2）, 2011/09/15
Vol.03 支援金に関するメモ（委員会資料)、 2012/02/27
Vol.04 支援金に関するメモその 2（委員会内資料)、 2012/03/14
Vol.05 支援金に関するメモその 3（委員会内資料)、 2012/06/04
Vol.06 支援金に関するメモその 4（委員会内資料)、 2012/06/28
Vol.07 支援金に関するメモその 5（委員会資料） 2012/07/02

３．熊澤ガバナー月信

2011 年　7 月号：第 2530 地区（福島県）南相馬市視察報告
2011 年 10 月号：ＲＩＤ2530（福島）への「放射線測定器」贈呈式報告
2011 年 12 月号：東日本大震災に対する復興支援について
2012 年　2 月号：東日本大震災への取組みについて
2012 年　4 月号：福島キッズキャンプ in 北海道春編報告
『福島キッズキャンプ in 北海道』 第 6 グループ活動報告
第４･第５グループ合同ＩM開催報告

NEWS

Vol.00　（2011/06/11）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

国際ロータリー第 2530 地区（福島県）南相馬市視察　報告

2011 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」の被害地域の一つである第 2530 地区（福島県）内の南相馬市（緊急時避難準備区域）を 2011 年 6 月 10 日（金）に、佐々木ガバナー、熊澤ガバナー・エレクト、出村地区財団委員、竹原札幌北 RC 会長、佐々木札幌北 RC 幹事、佐々木札幌北 RC 職業奉仕委員長と私の計 6 名で、被災地方々からの生の声を聴き、どのような支援ができるかを探るべく視察訪問をした。

福島空港で味戸パスト・ガバナー、須賀川ばたん RC の方々から出迎えを受け、郡山市までの移動中の味戸須賀川ばたん RC 会長の「淡々としながらも復興に前向きの被害状態説明」に徐々に緊張感が高まった。

郡山市で根本ガバナー・エレクトらと打ち合わせ南相馬市に向かった。南相馬市の視察場所まで 2 時間 30 分間、自己紹介、今回の視察の目的などを話し合ったが、『福島に目を向けてくれてうれしく思います。勇気がでます。』には感動した。

南相馬市内に到着してからは、酒井ガバナー補佐（南相馬市区域）の案内で、1）福島第 1 原発 20km 圏内（立入り区域）の境界、2）津波被害で集落がなくなった場所、3）船が陸地に残された場所、4）有名なサーフボードポイントの北泉の被害、5）北泉にある火力発電所の被害などを丁寧な説明を受けながら視察をした。津波被害報道に接していたわけであるが、現地に行くとその被害の大きさに、「絶句」するばかりであった。

この視察では、放射線を測定しながらのバス移動であった。郡山市付近では、ほぼ正常値（0.03 マイクロシーベルト/時）を示していたが、南相馬市に向かう途中の「計画的避難区域（放射線が高い区域）」では、1.2 マイクロシーベルト/時と値が跳ね上がる。口には出せないが、それは恐怖であった。

津波による被害にはもちろんだが、この「見えない恐怖」である放射線は、大人にも、子供にも大きく影響を与えている。

本視察の目的は、「どのような支援ができるかを探る」ことであったが、「放射線測定器」を寄贈し、使用していただくことは、「見えない恐怖」の放射線に対しての被爆量制御はもちろんのこと、心のケアーに貢献できるものと強く感じた。なお、視察後に開かれた当該委員会では、会員皆様からの「義援金」を活用しながら、マッチング・グランドによる「放射線測定器寄贈」プロジェクトを鋭意模索中である。

最後に、言い尽くせないほどお世話になった関係者各位に心から感謝申し上げたい。

NEWS

Vol.01　（2011/07/11）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

東日本大震災に対する復興支援について（その 1）

１．義援金の報告（2011 年 6 月 30 日現在）

地区義援金の総額：20,943,803 円
ガバナー会への拠出金額：14,671,555 円
地区義援金の残金：6,272,248 円

２．委員会の方針と行動計画

１）基本方針
・基本的な活動は、あくまでもクラブやロータリアンが主体であること。
・中・長期的視点になって取り組むこと。

２）義援金の使途
１　当地区と被災地の地区やクラブとの連携を深め、ロータリー間の友情支援をおこなう。

２　被災地である福島県の「須賀川ぼたん RC と郡山西 RC」の保育所、幼稚園等に「放射線測定器」120 台を贈呈する。この贈呈は「日本・太平洋諸島地震災害復興基金」 のマッチング・グラントを利用した総額 811 万円のプロジェクトであり、1）RI 財団（Funds from TRF）から 388 万円、2）地区活動資金（DDF）から 270 万円、3）札幌北 RC が 64 万円、4）地区義援金から 90 万円の支出予定である。

３　要望に従い引き続き「放射線測定器」の提供もおこなう。

４　今後、相手先からニーズをもとめ、情報を入手次第、検討し、追加の使途を設定する。
５　ガバナー会で示された「5　for　1」(1 つの被災クラブを 5 つの非被災クラブで支えていこう)に関しては、使途よりも進め方として理解し、必要であれば、ガバナー補佐にも協力要請も含め、検討する。
３）目標募金額　年度１,０００万円（5,000 円／人）とする。

３．活動に関して

この度の活動は中期的視野でお取り組頂きたく、この機会に、

①できるだけ、クラブの創意によって様々なイベントやチャリティプログラム、ガレージセール、節食分の提供などクラブが一体となってお取組みをお願い致します。

②海外からの義援金については日本円に換金してご送金下さい。

４．お願い事項

１）地区からの要請やクラブの情報などの交換のために、地震担当者のご登録をお願いしておりますので、未登録のクラブは早急にご一報下さいますようお願い致します。
なお、http://rid2510.org/disaster-relief/?page_id=41 の連絡員登録から氏名、所属クラブ、メールアドレスを登録可能です

３）振込先　　北洋銀行石山通支店（４７８）口座番号　普通　３８２５２７１
ＲＩＤ２５１０大震災救援奉仕プロジェクト委員会　委員長 阪崎健治朗
（フリカナ：アールアイディ二ゴイチゼロダイシンサイ・・）

５．連絡先

（１）地区事務所（札幌市中央区大通西１１丁目・大通藤井ビル）

（２）委員は事務所に定席しておりませんので、連絡は大変恐縮ですが、ＦＡＸあるいはメールでいただけるようお願いしたい。
ＦＡＸ　０１１－２０７－２５１２
E-mail：disaster_relief@rid2510.org

NEWS

Vol.02　（2011/08/11）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

「放射線測定器 120 台」贈呈プロジェクト

1「放射線測定器　120 台」贈呈プロジェクト

福島県南相馬市の視察を通して、「放射線測定器」を寄贈し使用していただくことは、見えない放射線に対しての被爆量制御はもちろんのこと、心のケアーに貢献できるものと強く感じました。

そこで、RID2530（福島県）の須賀川ぼたん RC, 郡山西 RC 地域の保育所等に 120 台の「放射線測定器」を寄贈するプロジェクトを立ち上げ、「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」（以下　「地震災害復興基金」）を用いたマッチング・グラント（MG）を適用するべく模索をしました。

2．チーム

「地震災害復興基金」を用いた MG は、1）少なくとも 2 カ国のロータリー・クラブまたは地区により提唱、計画、実行、完結すること。2）申請者、被災地である福島、岩手・宮城、茨城の各地域の地区およびそのクラブであること。の条件がつきました。このため、チームとして以下の 7 つの地区・クラブとなりました。

・実施国協同提案者（申請者）: 1）RID2530（福島県）の 2）須賀川ぼたん RC、3）郡山西 RC

・援助国協同提唱者 : 4）Bangkok Klonthey RC（バンコク　クロンシーRC）、5）Thailand NONG KHAI-RC（タイ ノンカイ RC）

・実施国国内支援者 : 6）RID2510（北海道西部）、7）札幌北 RC

短期間に、タイ王国のクラブから支援を取り付けることができたのは、国際奉仕（WCS）委員会の長年に渡るコミュケーションの賜物です。

なお、MG 番号とクラブ・地区組み合わせは以下の通りです。

MG#75435 MG#75439	Sukagawa Botan RC RID2530 Bangkok Klongtoey RC D3350 Sapporo North RC RID2510
MG#75441	Koriyama West RC RID2530 Nongkhai RC RID3340 RID2510

3．資金

申請締切り期日まで 10 日間、RI 財団の仮承諾が申請してから 3 日後、正式承諾が 12 日後と非常に速いスピードでプロジェクトは進められました。

資金は 815 万円で内訳は以下の通りであり、今回、クラブから集まった復興支援金からの支出が 95 万円（12%）と少ないと感じられる方もいらっしゃいますが､RI 財団と地区資金で 80%を占め、長年の当地区ロータリーアンの寄付の貢献が大きいことが分かります。

項目	金額	比率
Funds from RJDRF※	387 万円	47%
RID2510 地区資金（DDF）	270 万円	33%
地区支援金	94 万円	12%
札幌北 RC	64 万円	8%
計	815 万円	

※RJDRF : Rotary Japan 2011 Disaster Recovery Fund 「地震災害復興基金」

NEWS

Vol.03　（2011/08/13）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

「高田まつばら物語」購入・英訳プロジェクト

1「高田松原ものがたり」とは

「高田松原ものがたり」は、国指定の名勝･高田松原の歴史や自然環境について分かりやすく紹介したカラー冊子（B5 版）であり、2009 年に陸前高田ロータリークラブで発刊されました。

市内の小中学校や図書館、博物館などに配布し、子どもたちに郷土の歴史を学びながら自然を愛する気持ちを養ってもらうことを目的に、会員の佐々木松男さん（高田活版社長）を中心に作業を進められました。

2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生しました。津波で壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市では、日本百景に選ばれた名勝「高田松原」も無残に削り取られ、約 7 万本の松林のうち 1 本だけは津波の猛威を耐え、瓦礫の中で空に向かって立っている様子が、『1 本残った「希望の松」』として報道されました。

陸前高田 RC はでは、2010-2011 年度の伊東会長と佐々木松男幹事の体制が、そのまま続投することとなったそうですが、会員継続を意志表示された会員は、数名のみだそうで、陸前高田 RC としての組織的な活動も極めて厳しい状況と聞いています。

そんな中、佐々木松男氏は、震災後の被害等を書き込んだ大改訂版として、写真冊子「高田松原ものがたり－消えた高田松原－」を発行されました。

『涙なくしては読めませんでした。』とコメントを寄せるロータリーアンもいる圧倒的な内容となっています。

2．英訳してタイの子供達へ

国際奉仕委員会（WCS、手塚貴志委員長）では、陸前高田 RC の現状を知り、少しでもお役に立ちたい思いから、写真冊子「高田松原ものがたり－消えた高田松原－」を 100 冊購入することを決定しました。

そして、WCS 事業や「放射線測定器」贈呈プロジェクトでお世話になっている Bangkok Klonthey RC（バンコク　クロンシーRC）、Thailand NONG KHAI-RC（タイ　ノンカイ RC）のロータリーアンはもちろんのこと、特にその地区の子供達に東日本大震災の非常さを理解していただくために、出村知佳子地区ロータリー財団委員が英訳して、寄贈することになりました。

「We are one ～みんな、ひとつ～」がまた一つ増えることを願っています。

NEWS

Vol.05　（2011/09/05）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度

大震災救援奉仕プロジェクト委員会

委員長　阪崎健治朗

Email: disaster_relief@rid2510.org

URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

贈呈された「放射線測定器」

機種選定

RID2530（福島県）の須賀川ぼたん RC,郡山西 RC の保育所・幼稚園等に贈呈する「放射線測定器」選定にあたり、以下のことを考慮する必要がありました。

1）120 台で、800 万円程度に収まること。（1 台 6.6 万円以下）

2）同じ機種 120 台を購入でき、短納期であること。

3）実績があること。

このような中で、福島県側の窓口である安藤氏（郡山西 RC）の尽力で、「DoseRAE2」の購入が決定されました。

そのマニュアルの中では、『DoseRAE 2 パーソナル線量計は、原子力発電所、核燃料や核成分施設、核廃棄物処理施設、放射線源管理、核医学、環境モニタリング組織向けに特別に設計され、幅広い範囲で放射線を迅速に検出できると共に、エネルギー補正済みなので表示が正確です。』

となっています。

＋RC ストラップ

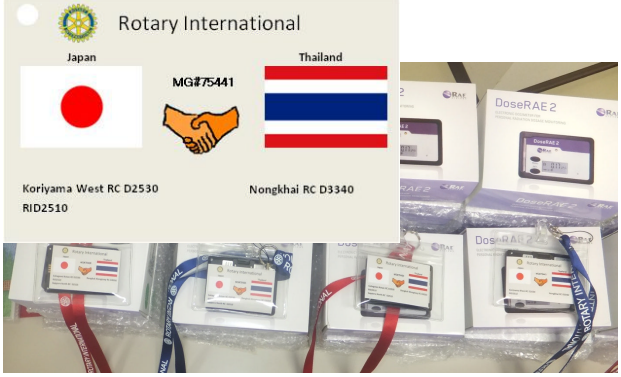
標準では、カードホルダーの中に、「測定器」を入れて使用することになっていましたが、そこに、ストラップを追加し、落下防止と両手が使える等の使用上に考慮しました。

＋日本語マニュアル（がんばろう福島！）

取扱説明書は英文のため和訳され、表紙に復興支援の気持ちを込めて、「がんばろう福島！」と記載し贈呈しました。

＋MG カード

MG の組み合わせが分かるように、ホルーダーの裏に 3 種類の MG カードを入れています。



NEWS

Vol.05　（2011/09/11）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度

大震災救援奉仕プロジェクト委員会

委員長　阪崎健治朗

Email: disaster_relief@rid2510.org

URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

「放射線測定器」贈呈式

被災地のニーズを把握するため、2011 年 6 月 10（金）に行った福島県相馬市視察を通して、「放射線測定器」を寄贈し、使用していただくことは、「見えない恐怖」の放射線に対しての被爆量制御はもちろんのこと、心のケアーに貢献できるものと強く感じました。

そこで、RID2530（福島）、RID3340（タイ王国）と当地区で、RI 財団のマッチング・グラント（MG）による「放射線測定器寄贈」プロジェクトを立ち上げ、異例の速さの MG 承認をいただき、この度、2011 年 8 月 29 日（月）に、福島県の須賀川ぼたん RC,郡山西 RC の保育所等で贈呈式が行われました。（＜7 つのクラブと地区による合同奉仕プロジェクト＞と呼称）

参加メンバーは、当地区から、熊澤ガバナー、久保田地区直前代表幹事、高橋札幌北 RC 会長、竹原札幌北 RC 直前会長、佐々木札幌北 RC、若原札幌東 RC 国際奉仕委員長、出村財団委員、堀江の 8 名、RID2530（福島）から、根本ガバナーを含め 15 名、そして、タイ王国からラティーマ女史（ノンカイ RC）を含め 3 名です。

贈呈品として、原子力発電所、核燃料や核成分施設、核廃棄物処理施設、放射線源管理、核医学、環境モニタリング組織向けに特別に設計された商品名「DoseRAE 2」の測定器 120 台（説明書は和訳、ストラップ付）と、タイ王国の子ども達の絵とメッセージが用意されました。

※放射線測定器（ストラップ付）

贈呈は 1）郡山市大成保育所、2）郡山市ニコニコ子供館、3）福島県郡山養護学校、4）特別養護老人ホーム「愛寿園」の 4 つの会場で行なわれました。

※郡山市ニコニコ子供館での贈呈式

※ラティーマ女史　タイ王国の子ども達の絵とメッセージを贈呈

郡山市大成保育所の園児や福島県郡山養護学校の児童達の元気な様子に安心しましたが、これからも「見えない恐怖」は続くのだという思いは強く、少しでも「放射線測定器」がお役に立てればと感じたところです。そして、歓迎していただいた園児・児童の姿を通して、目をウルウルさせながら、「元気をもらったのは私達だ！」と参加者全員の心に刻まれました。

最後に、言い尽くせないほどお世話になった関係者各位に心から感謝申し上げます。

NEWS

Vol.06　（2011/09/05）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

東日本大震災に対する復興支援について（その 2）

１．委員会の方針と行動計画

基本的な活動は、あくまでもクラブやロータリアンが主体であること。

中・長期的視点にたって取り組むこと。

ロータリーとロータリーの関係を重視し、情報の収集を行う。

支援対象地域は被災地３県のロータリー地区に支援することを原則とする。

２．支援金

年度１,０００万円とする。（ひとまず目途として１２月末とする）

３．使途

１）第一弾支援活動

被災地のロータリー地区またはクラブの要望に従い、「放射線測定器」を贈呈する。既に、福島県の「須賀川ぼたん RC と群馬西 RC」に１２０台相当の支援金を準備し、815 万円を贈呈した。（ロータリー財団の MG 活用）。地区支援金からは 94 万円の拠出。

２）第二弾支援活動

２５３０地区から要望がある「除染装置」を支援する。

３）第三弾以降

被災地の情報を得て後日決定する。

４　支援活動に関して

当地区委員会は、「義援金」ではなく、「支援金」とする。これにより具体的な支援計画を立て資金確保する。

各クラブが支援金活動をしていただく際、地区はグッズを用意し、購買協力を要望させていただく。（ストラップ：１本１,０００円程度）

この機会に個人的金銭のご負担よりも具体的な支援金確保のためにクラブの創意工夫に期待したい。例えば、イベントやチャリティプログラム、ガレージセール、例会昼食の節食分、ゴルフプレイの際の互助募金など。

地区は今後現地の情報や各クラブの活動状況を「NEWS」でお伝えする。毎月１１日。

５.お願い事項

１）地区とクラブとの連携を深めるために双方向コミュニケーションを高めたい。そのめに「地震担当者」のご登録をお願いしている。クラブでは社会奉仕委員会のご協力をいただければ活性化できるのではないかと願っている。

２）氏名、所属クラブ、メールアドレス

３）連絡先　http://rid2510.org/disaster-relief/

４）振込先　北洋銀行石山通支店（４７８）
口座番号　普通　３８２５２７１
ＲＩＤ２５１０大震災救援奉仕プロジェクト委員会　委員長 阪崎健治朗
（フリカナ：アールアイディ二ゴイチゼロダイシンサイ・・）

６.連絡先

地区事務所（札幌市中央区大通西１１丁目・大通藤井ビル）
ＦＡＸ　０１１－２０７－２５１２

※委員

委員長	阪崎健治朗（札幌西）
副委員長	堀江和美（砂川）、柳　孝一（幌南）
委員	清水　哲（札幌東）、山本雅昭（苫小牧北）、手塚貴志（白老）、井上　晃（小樽）、出村知佳子（札幌北）

＜本文は「第４,５グループ会長幹事会スピーチ資料」である。＞

NEWS

Vol.07　（2011/09/14）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度

大震災救援奉仕プロジェクト委員会

委員長　阪崎健治朗

Email: disaster_relief@rid2510.org

URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

「浜辺と海をきれいにする会」からご寄付

先日、親しくしている札幌幌南 RC の和田壬三弁護士から、「自分たちが主宰している会から RID2510 震災救援奉仕プロジェクト委員会に会の皆が志を寄せてくださった募金を寄付したいから」との連絡をいただきました。

思いがけない連絡でしたが、謹んでお受けしたいと９月１３日午後、ガバナー事務所で「１０万円」をお預かりしました。

「浜辺と海をきれいにする会」を担っておられる札幌幌南 RC の和田壬三氏、奈良岡眞氏、手稲 RC の会員で同会の会長でいらっしゃる丹羽裕而氏のお三方がお見えになり、私が代表してお受けしました。

この会は、毎年１回気候のいい時を選んで市民に呼びかけ、石狩新港浜をクリーンナップする運動だそうですが、今年は３３回目を迎えて、つい先日実施されました。ということは３３年以上もの歴史を有しているということでしょうか。

和田壬三先生が蒔かれた一粒の種はよい地に落ちて、やがて芽が出て花を咲かせるまでに成長したという聖書の言葉をふと思い出しました。

今年はバス１６台を連ねての大市民運動になったそうです。「浜辺と海をきれいにする会」は中枢の方々にロータリアンが多いそうですが、地域とのふれあいを大切に思うロータリーももっと協力しても、という思いになりました。
心から感謝いたします。

記：委員長　阪崎　健治朗

【浜辺と海をきれいにする会】ご紹介

浜辺と海をきれいにする会

CLEAN UP!

当会は、北海道石狩湾の浜辺と海の清掃活動を行っているボランティアの市民団体です。
■環境保護への意識を高めること、
■参加者同士のコミュニティを作ることが、私たちの活動の目的です。

「浜辺と海をきれいにする会」
会長　丹羽 祐而

＜実施要領＞（クリーンアップ作業）
1.日時　平成 23 年 9 月 4 日（日）午前 10 時より
2.場所　石狩新港浜＜現地集合＞
3.参加方法　当日、石狩新港浜の本部にて受付します。
4.用意するもの　軍手、お弁当（できればゴミ拾い等に便利な道具をご用意ください。）
5.その他　作業終了後、参加証がもらえます。

主催　浜辺と海をきれいにする会
後援　北海道・札幌市・石狩市・小樽市・同各教育委員会・札幌市 PTA 協議会、HTB 北海道テレビ放送・NPO 法人茨戸川環境市民フォーラム、北海道環境財団・日本釣振興会北海道地区支部

石狩新港浜をきれいにしましょう！ クリーンアップ 浜辺と海をきれいにする会 CLEAN UP!

URL：http://www.sap-wada-law.com/hama.html

NEWS

Vol.08　（2011/10/11）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

「支援ストラップ」購入のお願い

「We are One（みんな、ひとつに）」の気持ちを伝えたいとお考えのロータリーアンが大勢いらっしゃいます。

このために、イベントやチャリティプログラム、ガレージセール、例会昼食の節食、ゴルフプレイの際の互助募金など種々の活動が行われています。

そのような支援活動の一助になればと、地区では「支援ストラップ」をご用意しました。

1 本 1,000 円です。

クラブの支援イベント用に購入していただき、支援の輪を広げていきませんか？

コストは 1 本 200 円です。このため、差額の 800 円が支援金に充当されます。

【申込み方法】

申込み用紙か下記申込みフォームから申込みをお願いします。

http://rid2510.org/disaster-relief/?page_id=330

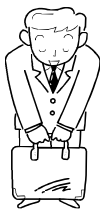
・クラブ名（必須）
・申込み者（必須）
・メールアドレス（必須）
・口数（1 口＝10 本）（必須）
・金額＝1,000 円×本数（必須）
・お届け先（必須）

【お届け】

受付後、お届け日をお知らせします。在庫がない場合には、少々時間を頂戴します。

商品を受け取り後、下記に振り込み宜しくお願いします。

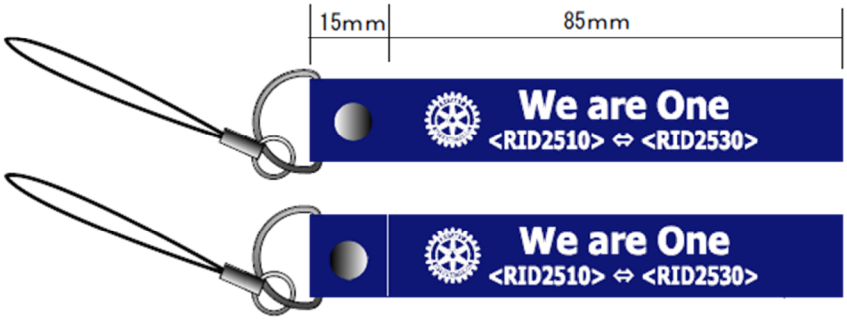
振込先　北洋銀行石山通支店（４７８）
口座番号　普通　３８２５２７１
ＲＩＤ２５１０大震災救援奉仕プロジェクト委員会　委員長 阪崎健治朗
（フリカナ：アールアイディ二ゴイチゼロダイシンサイ・・）



ご協力をよろしくお願いします。

【ストラップップの仕様】

・材質：平織りナイロン(細織り)
・サイズ：　巾=15mm 長さ=100mm
・紐　色：　紺色(Pantone 2747C)
・標準パーツ：　Dカン、携帯黒松葉



RID2510 大震災救援奉仕プロジェクト委員会　支援ストラップ　担当者　御中

（FAX　0125-55-2152）

支援ストラップ申込み用紙

申込み日：　　年　　月　　日

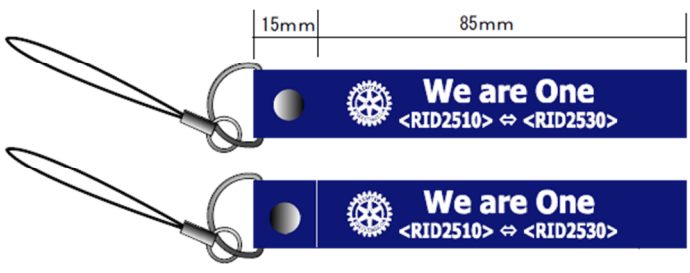
クラブ名	RC＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
申込み者	
メールアドレス	
口数（10 本単位）	＿＿＿口（＿＿＿本）
金額＝1,000×本数	＿＿＿＿＿＿＿＿円
お届け先	〒 住所： TEL：

振込先

北洋銀行石山通支店（４７８）、口座番号　普通　３８２５２７１

ＲＩＤ２５１０大震災救援奉仕プロジェクト委員会　委員長 阪崎健治朗

（フリカナ：アールアイディ二ゴイチゼロダイシンサイ・・



NEWS

Vol.09　（2012/02/22）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

皆様の支援金は大きく育ちます。

震災発生後に皆様から御預りしました義援金のうち 1,290 万円がガバナー会より返金され、事業費の現金拠出金（1,244 万円）を主に利用させて頂いています。

①放射線測定器贈呈、②飯館村復興支援号贈呈、③福島キッズキャンプ IN 北海道、④海星水産高校の校舎の復旧活動の 4 つの事業総額は 4,565 万円であり、地区のロータリアンの皆様からお預かりした地区支援金からは 1244 万円を拠出予定です。

皆様からの支援金が地区財団委員会のご協力のもと、財団プログラムを活用することで 4565 万円／1244 万円≒3.7 倍の大きな支援事業となり被災地に届けられています。

★RID2510 皆様からの義援金の事業拠出明細（2012./2/22 現在）

事業内容	事業費	拠出金★
1.放射能測定器 （災害マッチンググラント）	815 万円	94 万円
2 飯舘村支援車両 （東日本震災復興支援基金）	450 万円	300 万円
3 福島キッズキャンプ IN 北海道 （東日本震災復興支援基金）	1,000 万円	450 万円
4 いわき海星高校復旧事業 （イギリス財団他との共同）	2,300 万円	400 万円
合計	**4,565 万円**	**1,244 万円**

NEWS

Vol.10　（2012/02/27）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度

大震災救援奉仕プロジェクト委員会

委員長　阪崎健治朗

Email: disaster_relief@rid2510.org

URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

福島キッズキャンプ　IN　福島＜春編＞

目的

春、夏の休暇内部被曝の恐怖を抱えている福島の子ども達に少しでも心を癒し、楽しい時間を過ごしてもらうために、雄大な自然と見所の多い北海道に招聘し、有意義な時を提供することを目的とする。
要望があれば、同時に子ども達の甲状腺などの検査を専門のドクターの協力を得て、子ども達の健康管理を支援する。

事業の考え方

目的にあるように内部被爆の恐怖を抱えている福島の子ども達が楽しく時間を過ごしてもらうことを第 1 にして考える。（ロータリアンの目線ではなく）
また、今回の主な招待者である飯館村の子供達は、札幌という都会の雰囲気を味わってみたいとの要望もあり、この要望に応える必要もある。

募集人員等

飯舘村の子ども達（小学校 4･5･6 年生）：30 名　保護者・**大学生**：5 名
申込締切：2012 年 3 月 5 日（月）消印有効
参加の確定：応募が定員を超えた場合は事務局にて検討し, 高学年から優先、参加のご案内は電話
参加者確定後、説明会開催（2012 年 3 月 17 日（土））：当地区からスケジュール説明者 1 名と MG 責任者 1 名の参加が必要か？
申込み状況：39 名（2012/03/01 現在）＜出村さんからの情報＞

スケジュール

日付	時刻	プログラム	備考
3 月 27 日 （火）	8:30 9:00 11:00 12:50 13:30 15:00 16:00 18:00 20:00	福島駅西口　集合 福島駅西口　出発　貸切バス→福島空港へ 福島空港　出発(NH4785)→新千歳空港へ 新千歳空港　着　空港内またはバス内昼食 新千歳空港　出発　貸切バス→キロロリゾートへ キロロリゾート　着 開会式　オリエンテーション　ホテル館内見学 夕食　ウエルカムパーティー 入浴・就寝	
3 月 28 日 （水）	7:30 8:00 9:30 12:00 16:00 18:00 20:00	起床 朝食 活動開始　スキースクール体験 or 雪遊び 昼食（リゾート施設）の活用 その他 活動終了 入浴・就寝損害保険	
3 月 29 日	7:30 8:00 9:30	起床 朝食	

NEWS

Vol.10　（2012/02/27）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度

大震災救援奉仕プロジェクト委員会

委員長　阪崎健治朗

Email: disaster_relief@rid2510.org

URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

(木)	12:00 16:00 18:00 20:00	活動開始　スキースクール体験・雪遊び 昼食（リゾート施設）の活用 その他 活動終了 入浴・就寝	
3 月 30 日 (金)	7:00 7:30 8:45 10:20 12:00 13:30 17:30 18:00 20:00	起床 朝食 キロロリゾート出発（貸切りバス）→小樽水族館 小樽水族館　見学 昼食（祝津付近） 札幌方面へ　出発　貸切バス 白い恋人ファクトリー　大倉山　他　体験見学 ホテル　ロイトン札幌　着 夕食 入浴・就寝	
3 月 31 日 (土)	7:30 8:00 9:30 12:00 13:10 17:30 18:00 20:30	起床 朝食 「さっぽろ探検ミサンガラリー地下鉄/ 散歩」　出発 ①地下鉄 11 丁目等→②テレビ塔等 昼食（③ラーメン共和国・札幌駅） ④北海道四季劇場「ライオン・キング」　鑑賞 ⑤中島公園ホテルライフォート（ゴール） ホテル　ロイトン札幌　着　作文　荷物整理 夕食　閉会式　さよならパーティー 入浴・就寝	北海高校インターアクト
4 月 1 日 (日)	7:30 8:00 9:30 10:00 14:40 17:30 18:50 19:30 21:00	起床 朝食 出発　貸切バス→北海道神宮 北海道神宮・円山動物園　見学、昼食 出発　貸切バス→新千歳空港 新千歳空港　出発　機内にて夕食（弁当）→福島空港 福島空港　着 福島空港　出発　貸切バス→福島駅　西口 福島駅　西口　着	

期待されるグループ及びインターアクト

④札幌・札幌あけぼの・札幌はまなす・札幌北、札幌モーニング・札幌西・札幌西北・札幌手稲

⑤札幌東・札幌清田・札幌幌南・札幌真駒内・札幌南・新札幌・札幌大通公園・札幌セントラル

⑥岩内・倶知安・小樽・小樽南・小樽銭函・蘭越・余市

・北海高校インターアクト

NEWS

Vol.11　（2012/03/22）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

室蘭北ＲＣ「気仙沼津波被害　児童・生徒楽器支援事業」

気仙沼スウィングドルフィンズは気仙沼の少年少女によるユニークなジャズバンドで、その演奏活動は広く県内においても高く評価されているところであるが、このジャズバンドの被災状況は、津波被災のよるクラブ員の転出、練習施設の制限、備品等の損傷・紛失、楽器の紛失など、演奏活動に多大な支障が生じていて、特に子どもたちの多大な精神的ダメージは図りしれない。

室蘭北 RC と気仙沼南 RC は交流を持っており、室蘭北 RC が支援している室蘭市立翔陽中学校ジャズバンドクラブは、かねてより気仙沼スウィングドルフィンズと親交・交流を続けてきており、世界的ジャズプレーヤー日野晧正氏との共演など、度々マスメディアに登場し、管内のみならず全道・全国に知れ渡ったバンドでもある。

この度、室蘭市立翔陽中学校は、室蘭北 RC サポートの下、室蘭市市民会館で演奏会を行うが、気仙沼南 RC と協力し、「心のふれあい事業として」、1）演奏会に気仙沼スウィングドルフィンズを招待し協力して演奏をし、心の交流をも目的とした共同演奏会を実施、2）その後は、翔陽中学校のバンドも気仙沼に出向き、被災地での演奏会を行う予定をしており、そのような交流を両クラブがお手伝いをする中で、それぞれの行政機関も共同して交流をしていく方向にある。

更に、このような交流の実績と実現は被災地、地元の少年少女の共同演奏活動を通して未だ深い心の傷を負っていられる被災地域の方々にも希望と勇気を与えることに寄与することを期待して、本事業は計画された。

本計画を、地方新聞及び地元 FM にての報道及び放送を行い、東日本大震災で楽器をはじめ多くのものを失った学生達に、『楽器を寄贈するだけでなく、ジャズ演奏会による演奏会の交換による心の交流により心のケアにもつながり、室蘭のみならず気仙沼でもこの楽器にて演奏会を行うことにより、学生だけでなく、地元の方たちの心のケアにもつなげていくこと』を報道機関を通して広報し、さらに、寄贈した楽器及び演奏会案内等にもロータリー徽章の展示をして PR 活動を推進する。

【予算】

①室蘭北：58 万円

②RID2510DDF：80 万円

③ロータリー財団：40 万円

計　①＋②＋③＝178 万円

NEWS

Vol.12　（2012/03/27）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

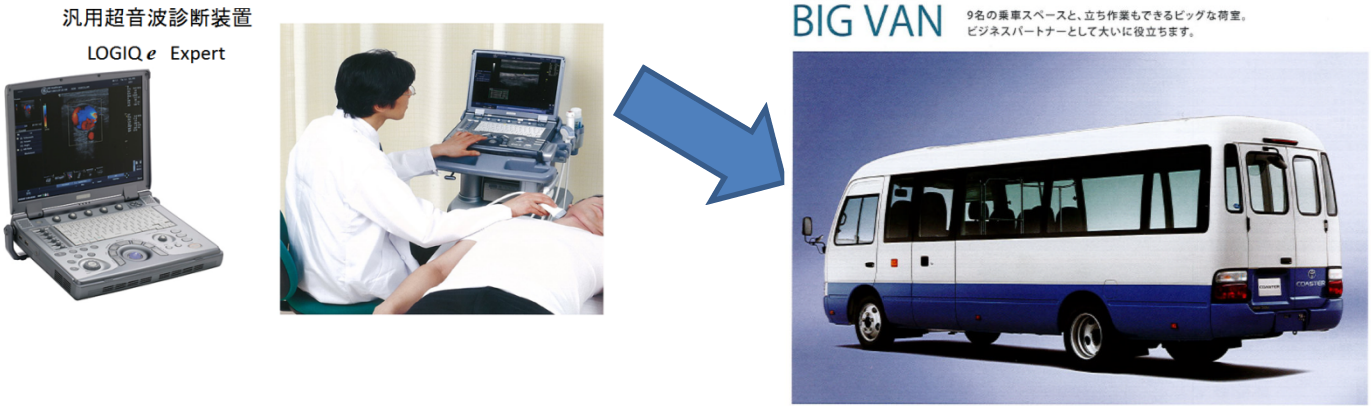
「福島アンダー18 マイクロバス検査登録支援事業」プロジェクト

福島県内で福島第一原発事故当時 18 歳以下であった青少年達は、チェルノブイリ事故の事故でも４、５年から急激に甲状腺小児がんが増えた実情もふまえ、将来的甲状腺がんリスク危険高い事への不安を抱える現状がある。

今まで施行されていなかった甲状腺の検査を行うことにより、ゆっくり育つ甲状腺がんが偶然に早いうちに多く発見されることも考えられてくる。

昨年 11 月より県による検診が開始されたが、全ての対象となる子供達の検査をするには多くの時間がかかり、震災及び原発事故から１年がたつ今、このように対象青少年の最初の検査登録の効率を上げ、初期の登録を促進し本人及び両親の不安の解消と現時点での状を把握し、今後長期に渡る福島県民の甲状腺がん増加がないことを確認していく礎として必要かつ重要と考えられる。

様々な場所に分散している対象者の検査効率をあげることの高い重要性を基本に、これを促進する為のアンダー18 検査.登録の為の移動検査車両（マイクロバス）を設置していく。



【予算】

①地区支援金：250 万円、②RID2510DDF：320 万円、③財団補助金：180 万円

計　①＋②＋③＝750 万円

（2012/03/28　申請書送付）

2011-2012 年度　大震災救援奉仕プロジェクト委員会
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/
NEWS　Vol.13　（2012/06/20）
We are one ～みんな、ひとつ～

福島県いわき海星高等学校支援贈呈式

2012 年 6 月 19 日（火）に「福島県いわき海星高等学校支援贈呈式」が開催されました。

支援は大きく 2 つの支援から成り立っています。
①校舎 1 階部分のサッシ窓ガラス復旧支援
理由：校舎への立ち入り制限及び物品の保管並びに盗難防止のため、警備会社によるセキュリティを導入するために必要。

②生徒会部活動用具・物品支援
理由：生徒、保護者の会費による自主財源によって買い揃えた物品が流失。県費によることができなく、部活動に支障が出ているため。

支援総額は 2,300 万円であり、①いわき小名浜 RC、②RID2530（福島）、③イギリスロータリー財団、④寒川 RC（神奈川県）、⑤多摩川東 RC、⑥郡山西 RC、⑦RID2510（北海道西部）の共同で行ったものです。（当地区は 400 万円の支援）

式典には、RID2530（福島）側から、根本ガバナー、橋本いわき分区ガバナー補佐、安藤ロータリーの友地区代表委員、いわき小名浜 RC の皆様、RID2510（北海道西部）側から、熊澤ガバナー、中山次期代表幹事、堀江委員の 3 名が参加しました。

式典は、菅原いわき小名浜 RC 会長、実施地区の代表として根本ガバナー、支援地区代表として熊澤ガバナーの挨拶の後、『被災から復興へ「P 旗」の歩み』と題して、熊谷先生による詳細な報告を受けました。

熊澤 G 挨拶

その後、目録の贈呈が行われました。

目録贈呈

そして、沢尻校長先生、PTA 会長、鈴木生徒会代表から謝辞をいただき、生徒の皆さんが作成してくれた「浮き輪ストラップ」を頂戴しました。

最後に、生徒会部活用具の活用を兼ねて、「じゃんから念仏おどり」を披露していただきました。

じゃんから念仏おどり

先生達や生徒達の災害に立ち向かう姿に感動しました。少しでも支援がお役にたつことを祈るばかりです。
最後に根本ガバナーはじめ、RID2530（福島）の方々にお世話になりました。心から感謝します。

MEMO

Vol.01　（2011/08/21）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

ガバナー会東日本大震災義援金

2010-2011 年度ガバナー会

2010-2011 年度ガバナー会は、『①被災地区が広域にわたり複数であることから、②複数の被災地区に全国の各地区から個別的に支援することは錯綜し混乱が予想されるため、ガバナー会がその受け皿になってオールジャパンの支援をしようということで義援金を募ることにしました。（2011 年 3 月 14 日）。』

その結果、9 億 9,300 万円の義援金が集まり、2011 年 4 月 4 日に被災地 7 地区に支援金として、1 億 2,300 万円が送金されました。

2011 年 4 月 11 日に緊急ガバナー会が開催され、「ガバナー会規約第 8 条」に基づく東日本大震災支援委員会＜委員長　織田吉郎 PG（第 2790 地区千葉）＞が発足し、同委員会におおける検討の結果、2011 年 6 月 9 日開催のガバナー会に 1）高校生への教育環境支援、大学・専門学校生への授業料支援､インターアクト,ローターアクト,RYLA の参加支援としての「災害遺児教育環境支援プログラム」（6 億 2,000 万円）、2）非被災のクラブが物心画面で被災 1 クラブを支援する「5 for 1 クラブプログラム」(1 億 5,000 万円)､3)支援予備費(5,000 万円)、4）管理運営費（5,000 万円）を提示し、認められました。

第 2700 地区（福岡)、第 2640 地区（大阪・和歌山）は､提示されたプログラムに不賛同であり、直接被災地区へ送金するとして、2010-2011 年度ガバナー会に返還要求し認められました。

なお、ガバナー会とは現ガハナーのその年度限りの非公式な会です。

2011-2012 年度ガバナー会

提示されたプログラムについて、種々の意見があることから、2011 年 7 月 31 日に緊急ガバナー会役員会が開催され、育英事業とファイブ・フォー・ワンを選択枝として残すことを検討するが、地区ガバナーから返還請求があれば、すでに被災地区に渡した 1 億 2000 万円を控除した額について、返還に応じることが決定し、2011 年 8 月 4 日付けで、2011-2012 年度ガバナー会議長　片倉章雄名で「東日本大震災支援プログラムについて、皆様の地区のご意見をおまとめ下さい」の文章が、2011-2012 年度各地区ガバナー宛に送信されました。

意見はアンケート回答（締切り 8 月 20 日）となっており、概略は以下の通りです。

１．前年度、東日本大震災支援委員会で検討し、ガバナー会でとりまとめた「災害遺児を対象とする教育支援プログラム」を承認・実行することに
□①賛同する、□②賛同しない

２．前期①で「教育支援プログラム」に賛同するとした場合、
□①　賛同地区が減少しても、残る地区同志で協力し実行する
□②　賛同するが、地区独自で教育支援プログラムを運用実践する

３．1 で②の「教育支援プログラム」に賛同しないとした場合、
□①　すでにガバナー会□座に振り込んだ地区の議援金は払戻の請求をし、地区独自の支援活動に使用する。
□払戻の請求はしないが、その使途を被災地区への支援金としてガバナー会から配分してもらいたい

熊澤隆樹ガバナーの考え方は、
①「教育支援プログラム」には賛同せず、すでに振り込んだ地区の義援金は払い戻しを請求する。
②ファイブ・フォー・ワンの存続検討結果を知らせてほしい。
です。

なお、佐々木正丞 PG にも同様なアンケートが送付されていますが、本案件は、2011-2012 年度ガバナー会で決定することであり、上記の 1～3 に対しては、回答する必要がないとする立場であり、『ファイブ・フォー・ワンの存続検討結果を知らせてほしい。』と回答してあります。

（記：2011/08/21）

MEMO

Vol.01　（2011/08/21）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

東日本大震災 最終章

RID2680　PG 田中　毅

ガバナー会が取り込んでしまった震災義捐金を、何としてでも被災地に直接送るべきだと考えて、炉辺談話 442 で私が述べた内容とほぼ同じ書状を、7 月 27 日付けで、RI 理事、直前理事、新旧ガバナー会正副議長その他関係するシニアリーダー約 20 名に送りました。

それと共に源流の会と JRIC のメーリングリストで、概要をお知らせしました。皆様から大きな反響をいただきました。
誤解のないようにお断りしておきますが、ガバナー会とは現ガバナーのその年度限りの非公式な会であり、私たちパスト・ガバナーはその会員ではありません。

私からの抗議文をうけて、7 月 31 日日曜日に緊急ガバナー会役員会が開催され、育英事業とファイブ・フォー・ワンを選択枝として残すことを検討するが、地区ガバナーから返還請求があれば、すでに被災地区に渡した 1 億 2000 万円を控除した額について、返還に応じることが決定した旨、水野副議長から直接メールをいただきました。

黒田直前 RI 理事からも電話をいただき、私の投じた一石を非常に喜んでおられました。そして、なぜガバナー会がこのような権限を持つに至ったのかを嘆いておられました。
7 月 31 日の会合を受けて、8 月 4 日付で、片倉ガバナー会議長、上野直前議長、織田東日本震災支援委員会委員長から、各地区ガバナー宛に文書が送られました。

片倉議長は、それぞれの地区の主体性を最大限重視する旨の記載がありましたが、上野直前議長は新年度ガバナーのご理解をいただけるものと考えていたので、このプロジェクトをバトンタッチされないという予測はしていなかったという恨み節が述べられていました。

織田 PDG がいかなる立場でこの説明役を引き受けられたのか不明ですが、結果としてガバナー会が義捐金の運用を行うという前提、すなわち廃案となる原案に対する Q&A なので、同氏はその役を引き受けるべきではなかったというのが、私の感想です。

ガバナー会は、いかなる法的根拠も持たない単なる親睦なり連絡調整の役割しかない組織であり、従ってガバナー会が奉仕活動を実践する権限を持っていないことは、今期のガバナー会の正副議長も認めておられることなので、この Q&A 自体が無意味で、混乱を引き起こすだけなのです。

冒頭、ガバナー会の規約について説明されていますが、これらの規約は当該年度のガバナー以外には何の影響を及ぼさないことを、まず自覚すべきだと思います。

重ねて申し上げますが、ガバナー会が震災義捐金を配分する権限は全くありません。オールジャパンで対処するときのまとめ役という表現がありましたが、それをガバナー会に依頼した覚えはありませんし、その能力もありません。ガバナー会は当該年度ガバナーの親睦組織に過ぎないのです。

阪神大震災の義捐金の使途を実践・決定したのは 6 ケ月後と記載されていますが、まったく事実に反します。私が最終的に阪神大震災の義捐金の総決算を行って、RI に対する報告書を書きましたので、復旧復興事業の詳細については誰よりも良く了解しているつもりです。ほとんどのクラブは 1 ケ月以内には対社会的奉仕活動を開始しています。義捐金は 1 日も早く、現地に届ける。これが鉄則なのです。

義捐金はロータリアン被災者と地域社会の被災者、双方に渡されるべきです。阪神大震災ではガバナーはその判断を下し、被災クラブもそれによって助けられました。すべてを失った阪神間のクラブは、被災 1～2 週間後に配られた義捐金で息を吹き返したのです。

2520 地区 85 クラブのうち 26 クラブが解散の危機に瀕していると聞きました。ロータリアンを見殺しにして、ロータリークラブの復興はあるのでしょうか。何よりも大切なことは、クラブと会員身

MEMO

Vol.01　（2011/08/21）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

分を維持させることです。助けられたクラブやロータリアンは、今後一生をかけて、受けた恩義の何十倍も何百倍もの奉仕活動をしてくれることを信じています。

だから、義捐金の使途についても、ガバナー会は口を出さないことです。何に使うかは、被災地区のガバナーと被災クラブが相談した決める事項です。

ガバナー会からの文書に対して 2520 地区の菅原ガバナーは、全日本のガバナーに対して、震災義捐金を地区に返還してもらって、地区から直接、被災地区かクラブか東日本震災復興基金に援助するようにとの要請文をだされました。

明らかに、被災地区である 2520 地区は、ガバナー会の介入を拒否しているのです。

私も同じ思いです。ガバナー会の構成員はピッカピカの一年生、すなわちほとんど何も経験したことのない新入生ガバナーの集団であることを謙虚に認めるべきです。せいぜい自分の地区の管理運営だけて手一杯のはずです。

そんなガバナー会が無謀にも行おうとしている育英事業の費用の内訳に管理運営費 5000 万円、予備費 5000 万円という項目があります。1 億円もの巨額の経費を義捐金から流用して、育英事業を運営するとは、狂気の沙汰としか言いようがありません。震災義捐金を管理費に流用することは犯罪行為にもなり兼ねません。ガバナー会がこの事業をやると大見得を切ったのですから、必要な経費は当然当該年度ガバナーのポケット・マネーで賄うべきでしょう。

本日、片倉議長から、ご丁寧な電話がありました。その中で、片倉議長のお考えは、私の考えとまったく同じだとのお言葉があり、ガバナー会の運営方法に大きな疑問を感じているとのお話でした。

このような見解を正副議長がお持ちである以上、ガバナー会はお預かりした義捐金を全額、地区に返還すべきです。賢明な今年度のガバナー諸氏も、この決定に依存はないと思います。

ガバナー会に任せると言って義捐金を引き取らない地区もでてくると思いますが、いかなる理由があろうとも、ガバナー会で資金をプールすると、その運用を巡って、今後大きな禍根を残すことになりますから、全額を返還すべきです。

被災地のガバナーの連合体が、東日本震災復興基金を管理する案が出ているようですが、この組織とガバナー会は完全に分離すべきだと思います。何れにせよ、義捐金の使途は、被災地区がすべて決定し、その決定に日本全体のロータリアンが従うことです。

ガバナー会から返還してもらった義捐金を、どの被災地区に送って、今後どのように協力を続けるのかを、被災地区以外のガバナーは早急に決定しなければなりませんし、被災地区のガバナーはどんな事業に使うのかを決定して実践する義務があるのです。

被災地区に関しては、とかく 2520 地区が話題に上りますが、2530 地区福島、2550 地区栃木、2790 地区千葉、2820 地区茨城、2830 地区青森も被災地区に認定されています。義捐金送付先を決定するに際して、これらの地区のことも忘れてはなりません。それぞれの地区は義捐金の受け皿を用意していますので、調査してください。

いまこそ、社会奉仕活動実践の真価が問われる時です。各地区のガバナーと担当地区委員のご健闘をお祈り申し上げます。

MEMO

Vol.02　（2011/09/15）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

ガバナー会東日本大震災義援金（その 2）

ガバナー会東日本大震災義援金とは

2010-2011 年度ガバナー会は、『①被災地区が広域にわたり複数であることから、②複数の被災地区に全国の各地区から個別的に支援することは錯綜し混乱が予想されるため、ガバナー会がその受け皿になってオールジャパンの支援をしようということで義援金を募ることにしました。（2011 年 3 月 14 日）。』

その結果、9 億 9,300 万円の義援金が集まり、2011 年 4 月 4 日に被災地 7 地区に支援金として、1 億 2,300 万円が送金されました。

2011 年 6 月 9 日開催のガバナー会に 1）高校生への教育環境支援、大学・専門学校生への授業料支援､インターアクト,ローターアクト,RYLA の参加支援としての「災害遺児教育環境支援プログラム」（6 億 2,000 万円）、2）非被災のクラブが物心画面で被災 1 クラブを支援する「5 for 1 クラブプログラム」（1 億 5,000 万円）､3）支援予備費（5,000 万円）、4）管理運営費（5,000 万円）を提示し、認められました。

しかしながら、提示されたプログラムについて、種々の意見があることから、2011 年 7 月 31 日に緊急ガバナー会役員会が開催され、育英事業とファイブ・フォー・ワンを選択枝として残すことを検討するが、地区ガバナーから返還請求があれば、すでに被災地区に渡した 1 億 2000 万円を控除した額について、返還に応じることが決定し、2011 年 8 月 4 日付けで、2011-2012 年度ガバナー会議長　片倉章雄名で「東日本大震災支援プログラムについて、皆様の地区のご意見をおまとめ下さい」の文章が、2011-2012 年度各地区ガバナー宛にアンケート用紙が送信されました。

そのアンケートに対して、熊澤隆樹ガバナーの考え方は、
①「教育支援プログラム」には賛同せず、すでに振り込んだ地区の義援金は払い戻しを請求する。
②ファイブ・フォー・ワンの存続検討結果を知らせてほしい。
と 2011 年 8 月 20 に回答しました。

なお、佐々木正丞 PG にも同様なアンケートが送付されていますが、本案件は、2011-2012 年度ガバナー会で決定することであり、回答する必要がないとする立場であり、『ファイブ・フォー・ワンの存続検討結果を知らせてほしい。』と回答してありました。

ガバナー会の東日本大震災義援金の取り扱いについて

アンケートに関する回答として、ガバナー会は、各ガバナー宛に下記のような文を各地区のガバナーに送付しました。

『・・略

打ち合わせに先立ち、他地区のご意見を取りまとめましたが、育英会に賛同する地区が減少しても実行したいとする意見や、被災地に早急な支援を実施すべきだと言う意見などに別れ、ひとつの意見に集約することが難しい結果でした。このような結果を勘案し、また地区の自主性というロータリーの本来のあり方も考慮して、地区独自での支援を希望する地区に対しましては、ガバナー会に集まった義援金の残高を出資比率に応じて速やかにお返しすることに致したいと存じますので、・・・返金希望地区のガバナーにおかれましては「義援金返還について」にご記入の上、9 月 16 日までにご返送いただきたくお願い申し上げます。このような結論に達しましたのは被災地区にある地区から、とにかく今すぐにでも直接的な支援が欲しいとの声が出ていることも事実であり、時期を逸しては義援金としての意味合いが薄らぐことを懸念したからです。』

戻った義援金額及び今後の検討

熊澤ガバナーは、『地区独自での支援を希望する』と返答してありましたので、ガバナー会にすでに振り込まれていた 14,671,555 円に対する出資比率に応じて、12,949,055 円が返金されました。

熊澤ガバナー、杉江代表幹事と当委員会で早急に検討することになっています。

（記：2011/9/15）

MEMO

Vol.03　（2012/02/27）

We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長　阪崎健治朗
Email: disaster_relief@rid2510.org
URL: http://rid2510.org/disaster-relief/

支援金に関するメモ（委員会内資料）

１．支援金の報告（2011 年 6 月 30 日現在）

地区支援金の総額：20,943,803 円
ガバナー会への拠出金額：14,671,555 円
地区支援金の残金：6,272,248 円＜627 万円＞

２．ガバナー会からの戻り金（2011 年 9 月 20 日）

ガバナー会からの戻り金：12,949,055 円＜1295 万円＞
すなわち、ガバナー会へは 14,671,555-12,949,055＝1,722,500＜172 万円＞の送金したことになる。

３．2011-2012 熊澤ガバナー年度の支援金

2012/02/27 現在

1）浜辺と海をきれいにする会：10 万円
2）函館東 RC：25 万円
3）ストラップ：156 万円
販売総数：1562 本：40 クラブ(1540 本),地区大会ブース(22 本)
計　10＋25＋156＝191 万円

４．支援事業支出金（予定も含む）

2012/02/27 現在

1）放射線測定器（815 万円、94 万円）
2）飯舘村支援車両（450 万円、300 万円）
3）福島キッズキャンプ IN 北海道（1000 万円,450 万円）
4）いわき海星高校復旧事業（2300 万円,400 万円）

1）＋2）＋3）＋4）総事業費　4,565 万円（内　地区拠出金 1,244 万円）
4,565/1,244＝3.7 倍

5）ストラップ 2,000 本×@200 円／本＝40 万円

５．支援事業計画にあたり可能事業資金

2012/02/27 現在

5.1　支援金
1）当初：627 万円
2）ガバナー会戻り金：1,295 万円
3）熊澤年度支援金：191 万円

計：627＋1,295＋191＝2,113 万円

地区支援金合計は（2,113 万円＋172 万円＝2285 万円）

5.2　支出事業資金（予定含む）
1）放射線測定器：94 万円
2）飯舘村支援車両：300 万円
3）福島キッズキャンプ IN 北海道：450 万円
4）いわき海星高校復旧事業：400 万円
5）ストラップ：40 万円

計　94＋300＋450＋400＋40＝1,284 万円

残：2,113 万円－1,284 万円＝829 万円

６．東日本震災復興基金補助金の締切日

東日本震災復興基金補助金の締切日は 2012 年 3 月 31 日（土）です。

MEMO

Vol.04　（2012/03/14）
We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）
2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会

支援金に関するメモその２（委員会内資料）

１．支援金の報告（2011/6/30）

2010-2011 年度地区支援金の総額：20,663,603 円
ガバナー会への拠出金額：14,671,555 円
地区支援金の残金：5,992,048 円＜599 万円＞

２．ガバナー会からの戻り金（2011/9/20）

ガバナー会からの戻り金：12,949,055 円＜1295 万円＞
すなわち、ガバナー会へは 14,671,555-12,949,055＝1,722,500＜172 万円＞を送金したことになる。

３．2011-2012 熊澤ガバナー年度の支援金

2012/03/12 現在の入金ベース
1）浜辺と海をきれいにする会：10 万円
2）クラブからの支援金：289 万円(25 クラブ)
3）ストラップ：146 万円（39 クラブ）
計　10＋289＋146＝445 万円
目標金額：1,000 万円（44.5%）

４．委員会通帳残高

2012/03/12 現在
★入金
1）2010-2011 年度からの引継ぎ額：599 万円
2）ガバナー会からの戻り金：1295 万円
3）浜辺と海をきれいにする会：10 万円
4）クラブ支援金：289 万円
5）ストラップ：146 万円（39 クラブ）
入計　599＋1295＋10＋289＋146＝2,339 万円

★出金
1）放射線測定器：94 万円
2）飯館村車両：450 万円（150 万円分立替）
3）いわき海星高校：400 万円
出計　94＋450＋400＝944 万円
残金　2,339－944＝1,395 万円

可能支払額：1,395 万円＋150 万円＝1,545 万円
（飯館村車両分として 150 万円分が戻る予定）

４．支援事業支出金

2012/03/25 現在
①支出が終わったもの（合計金、地区支援金分）
1）放射線測定器（815 万円、94 万円）
2）飯舘村支援車両（450 万円、300 万円）
3）いわき海星高校復旧事業（2300 万円,400 万円）
1）＋2）＋3）＝（3,565 万円、794 万円）

②今後の予定
4）福島キッズキャンプ IN 北海道（1000 万円,450 万円）
5）福島アンダー18 検査・登録移動車両支援プロジェクト（750 万円、290 万円）
4）＋5）＝（1750 万円,740 万円）
6）ストラップ 2,000 本×@200 円／本＝40 万円
地区支援金支出額 4）＋5）＋6）＝450＋290＋40＝780 万円

大きく育つ係数

1）＋2）＋3）＋4）＋5）＝（3,565＋1750、794＋740）＝（5,315 万円、1,534 万円）
大きく育つ係数：5,315/1,534＝3.5 倍

５．次年度以降に引継ぎ可能金額

2012/03/12 現在

1）可能支払額：1,395 万円＋150 万円＝1,545 万円
2）今後予定される支出金額：780 万円

引継ぎ可能金額　1）－2）＝765 万円

☆「支援金に関するメモその 1」との違い
1）2010-2011 年度地区支援金の総額 2,094 万円であったものが 2,066 万円となったこと。
2）熊澤年度のクラブからの支援金が 35 万としていたが、286 万円となったこと（289－35＝254）
3）福島アンダー18 検査・登録移動車両支援プロジェクトの 270 万円を見込んだこと

☆引継ぎ可能金額 765 万円は増大？
1）クラブからの支援金が増大するであろうこと。
2）ストラップの未入金 19 万円があること。

MEMO

Vol.04　（2012/03/14）
We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会

６．クラブ別支援金まとめ

2012/03/12 現在

G	クラブ	支援金	ストラップ	計
1	深川	0	40,000	40,000
	羽幌	200,000	0	200,000
	妹背牛	0	10,000	10,000
	小平	0	0	0
	留萌	0	0	0
2	赤平	0	0	0
	芦別	0	10,000	10,000
	砂川	0	50,000	50,000
	滝川	0	60,000	60,000
3	美唄	0	20,000	20,000
	江別	0	20,000	20,000
	江別西	140,000	30,000	170,000
	岩見沢	0	80,000	80,000
	岩見沢東	0	0	0
	栗沢	0	0	0
	栗山	0	0	0
	当別	0	0	0
4	札幌	540,000	130,000	670,000
	札幌あけぼの	0	0	0
	札幌はまなす	0	20,000	20,000
	札幌北	300,000	40,000	340,000
	札幌モーニング	27,600	30,000	57,600
	札幌西	0	0	0
	札幌西北	0	0	0
	札幌手稲	0	40,000	40,000
5	札幌東	0	90,000	90,000
	札幌清田	0	20,000	20,000
	札幌幌南	0	50,000	50,000
	札幌真駒内	38,000	60,000	98,000
	札幌南	442,000	0	442,000
	札幌大通公園	50,000	0	50,000
	札幌セントラル	0	0	0
	新札幌	0	10,000	10,000
6	岩内	0	0	0
	倶知安	0	0	0
	小樽	210,000	70,000	280,000
	小樽南	200,000	100,000	300,000
	小樽銭函	0	0	0
	蘭越	0	0	0
	余市	100,000	40,000	140,000

G	クラブ	支援金	ストラップ	計
7	千歳	0	50,000	50,000
	千歳セントラル	0	30,000	30,000
	恵庭	0	0	0
	北広島	0	10,000	10,000
	長沼	20,000	0	20,000
	由仁	0	10,000	10,000
8	えりも	0	30,000	30,000
	三石	0	20,000	20,000
	様似	0	0	0
	静内	0	0	0
	浦河	0	0	0
9	伊達	0	40,000	40,000
	室蘭	0	0	0
	室蘭東	0	0	0
	室蘭北	8,000	20,000	28,000
	登別	0	0	0
	洞爺湖	0	10,000	10,000
10	函館	46,375	30,000	76,375
	函館亀田	24,115	110,000	134,115
	森	22,260	0	22,260
	七飯	7,420	0	7,420
	長万部	32,337	10,000	42,337
	函館セントラル	280,325	30,000	310,325
11	江差	26,347	0	26,347
	函館五稜郭	39,882	40,000	79,882
	函館東	42,666	0	42,666
	函館北	84,767	10,000	94,767
	北斗	9,275	20,000	29,275
	松前	1,855	0	1,855
12	白老	0	30,000	30,000
	苫小牧	0	50,000	50,000
	苫小牧東	0	0	0
	苫小牧北	0	30,000	30,000

項目	支援金	ストラップ	計
クラブ数	25	41	－
金額	2,893,224	1,600,000	4,493,224

注）ストラップの金額は販売数からの金額であり、入金ベースとは異なる。

MEMO

Vol.05　（2012/06/04）
We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会

支援金に関するメモその３（委員会内資料）

１．支援金の報告（2011/6/30）

2010-2011 年度地区支援金の総額：20,663,603 円
ガバナー会への拠出金額：14,671,555 円
地区支援金の残金：5,992,048 円＜599 万円＞

２．ガバナー会からの戻り金（2011/9/20）

ガバナー会からの戻り金：12,949,055 円＜1295 万円＞
すなわち、ガバナー会へは 14,671,555-12,949,055＝1,722,500＜172 万円＞を送金したことになる。
このため、2010-2011 年度からの引継ぎ金額は、20,663,603－1,722,500＝18,941,103（1,894 万円）

３．2011-2012 熊澤ガバナー年度の支援金

2012/05/31 現在
1）クラブからの支援金：967 万円(62 クラブ)
2）浜辺と海をきれいにする会：10 万円
3）地区広報・ＩＣ委員会：2.2 万円
4）10・11ｸﾞﾙｰﾌﾟ内クラブ寄付(ｺﾞﾙﾌ)：11.67 万円
計　967＋10＋2.2＋11.67＝990.87 万円
目標金額：1,000 万円（99%）

４．次年度に引継ぎ可能金額

2012/06/04 現在
★入金
1）2010-2011 年度からの引継ぎ額：1,894 万円
2）2011-2012 年度支援金：991 万円
計：1,894 万円＋991 万円＝2,885 万円
★出金（予定を含む）
1）放射線測定器：94 万円
2）飯館村車両：300 万円
3）いわき海星水産高校の校舎復旧支援プロジェクト：400 万円
4）福島キッズキャンプ：450 万円
5）福島アンダー18 検査・登録移動車両支援プロジェクト：250 万円
6）支援ストラップ：50 万円
出計　94＋300＋400＋450＋250＋50＝1,544 万円
残金　2,885－1,544＝1,341 万円

5．大きく育つ係数

1）放射線測定器：94 万円（815 万円）
2）飯館村車両：300 万円（450 万円）
3）いわき海星水産高校の校舎復旧支援プロジェクト：400 万円（2,300 万円）
4）福島キッズキャンプ：450 万円（1,000 万円）
5）福島アンダー18 検査・登録移動車両支援プロジェクト：250 万円（750 万円）
計：1,494 万円（5,315 万円）
大きく育つ係数：5,315/1,494＝3.56 倍

６．支援ストラップ

2012/06/04 現在
販売総数：　45 クラブ(1940 本)＋地区大会ブース(22 本)＝1962 本

購入本数：2500 本　　サンプル数：118 本 , 販売総数：1962 本 , 残数：420 本

MEMO

Vol.05　（2012/06/04）
We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会

7. クラブ別支援金まとめ

2012/06/04 現在

G	クラブ	支援金	ストラップ
1	深川	203,580	40,000
	羽幌	200,000	0
	妹背牛	10,000	10,000
	留萌	23,615	0
2	赤平	0	0
	芦別	124,000	10,000
	砂川	50,000	50,000
	滝川	60,000	60,000
3	美唄	20,000	20,000
	江別	1,020,000	20,000
	江別西	670,000	30,000
	岩見沢	420,000	80,000
	岩見沢東	118,000	30,000
	栗沢	115,000	0
	栗山	100,000	0
	当別	96,700	0
4	札幌	670,000	130,000
	札幌あけぼの	0	0
	札幌はまなす	110,000	20,000
	札幌北	340,000	40,000
	札幌モーニング	87,600	30,000
	札幌西	0	0
	札幌西北	135,000	0
	札幌手稲	166,287	40,000
5	札幌東	90,000	90,000
	札幌清田	98,000	20,000
	札幌幌南	291,000	50,000
	札幌真駒内	98,000	60,000
	札幌南	442,000	0
	札幌大通公園	60,000	10,000
	札幌セントラル	0	0
	新札幌	10,000	10,000
6	岩内	300,000	0
	倶知安	0	0
	小樽	280,000	70,000
	小樽南	300,000	300,000
	小樽銭函	80,000	80,000
	蘭越	0	0
	余市	140,000	40,000

G	クラブ	支援金	ストラップ
7	千歳	50,000	50,000
	千歳セントラル	30,000	30,000
	恵庭	96,000	0
	北広島	10,000	10,000
	長沼	20,000	20,000
	由仁	10,000	10,000
8	えりも	30,000	30,000
	三石	20,000	20,000
	様似	0	0
	静内	0	0
	浦河	0	0
9	伊達	40,000	40,000
	室蘭	331,000	0
	室蘭東	160,000	0
	室蘭北	90,000	20,000
	登別	0	0
	洞爺湖	60,000	10,000
10	函館	76,375	30,000
	函館亀田	284,115	110,000
	森	22,260	0
	七飯	87,210	0
	長万部	52,337	10,000
	函館セントラル	310,325	30,000
11	江差	26,347	0
	函館五稜郭	195,382	40,000
	函館東	142,666	0
	函館北	94,767	10,000
	北斗	29,275	20,000
	松前	1,855	0
12	白老	89,450	30,000
	苫小牧	214,650	50,000
	苫小牧東	87,400	0
	苫小牧北	106,350	30,000

項目	支援金	ストラップ
クラブ数	62	45
金額	9,696,546	1,940,000

MEMO

Vol.06　（2012/06/28）
We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）
2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会

支援金に関するメモその３（委員会内資料）

１．2011-2012 熊澤ガバナー年度の支援金

1）クラブからの支援金：10,577,137 円(64 クラブ)
2）浜辺と海をきれいにする会：100,000 円
3）地区広報・ＩＣ委員会：22,000 円
4）10・11ｸﾞﾙｰﾌﾟ内クラブ寄付(ｺﾞﾙﾌ)：116,660 円
5）ＪＧＦＲ北海道大会(ｺﾞﾙﾌ)：103,000 円
6）貯金利息：1,491 円

計　10,577,137＋100,000＋22,000＋116,660＋103,000＋1,491＝10,920,288 円

目標金額：1,000 万円（達成率 109％）

２．次年度に引継ぎ可能金額

★入金
1）2010-2011 年度からの引継ぎ額：18,941,103 円
2）2011-2012 年度支援金：10,920,288 円
計：18,941,103 円＋10,920,288＝29,861,391 円

★出金
1）放射線測定器：940,480 円
2）飯館村車両：2,998,700 円
3）いわき海星水産高校の校舎復旧支援プロジェクト：4,000,000 円
4）福島キッズキャンプ：4,500,000 万円
5）福島アンダー18 検査・登録移動車両支援プロジェクト：2,500,000 円
6）支援ストラップ：500,000 円
計　940,480＋2,998,700＋4,000,000＋4,500,000＋2,500,000＋500,000＝15,439,180 円

★繰越し額：29,861,391－15,439,180＝14,422,211 円

３支援ストラップ

購入本数：2500 本（購入費 50 万円）　　サンプル数：118 本，販売総数：1962 本，残数：420 本
販売総数：1962 本：45 クラブ(1940 本),地区大会ブース(22 本)

MEMO

Vol.06　（2012/06/28）
We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会

４．クラブ別支援金まとめ

G	クラブ	支援金	ストラップ
1	深川	203,580	40,000
	羽幌	200,000	0
	妹背牛	10,000	10,000
	留萌	23,615	0
2	赤平	112,000	0
	芦別	124,000	10,000
	砂川	50,000	50,000
	滝川	60,000	60,000
3	美唄	170,000	20,000
	江別	1,020,000	20,000
	江別西	670,000	30,000
	岩見沢	420,000	80,000
	岩見沢東	118,000	30,000
	栗沢	115,000	0
	栗山	100,000	0
	当別	96,700	0
4	札幌	670,000	130,000
	札幌あけぼの	0	0
	札幌はまなす	110,000	20,000
	札幌北	340,000	40,000
	札幌モーニング	126,800	30,000
	札幌西	0	0
	札幌西北	135,000	0
	札幌手稲	166,287	40,000
5	札幌東	469,391	90,000
	札幌清田	98,000	20,000
	札幌幌南	291,000	50,000
	札幌真駒内	98,000	60,000
	札幌南	442,000	0
	札幌大通公園	60,000	10,000
	札幌セントラル	0	0
	新札幌	10,000	10,000
6	岩内	300,000	0
	倶知安	0	0
	小樽	280,000	70,000
	小樽南	300,000	300,000
	小樽銭函	80,000	80,000
	蘭越	0	0
	余市	140,000	40,000

G	クラブ	支援金	ストラップ
7	千歳	50,000	50,000
	千歳セントラル	30,000	30,000
	恵庭	96,000	0
	北広島	10,000	10,000
	長沼	20,000	20,000
	由仁	10,000	10,000
8	えりも	30,000	30,000
	三石	20,000	20,000
	様似	0	0
	静内	200,000	0
	浦河	0	0
9	伊達	40,000	40,000
	室蘭	331,000	0
	室蘭東	160,000	0
	室蘭北	90,000	20,000
	登別	0	0
	洞爺湖	60,000	10,000
10	函館	76,375	30,000
	函館亀田	284,115	110,000
	森	22,260	0
	七飯	87,210	0
	長万部	52,337	10,000
	函館セントラル	310,325	30,000
11	江差	26,347	0
	函館五稜郭	195,382	40,000
	函館東	142,666	0
	函館北	94,767	10,000
	北斗	29,275	20,000
	松前	1,855	0
12	白老	89,450	30,000
	苫小牧	214,650	50,000
	苫小牧東	87,400	0
	苫小牧北	106,350	30,000

項目	支援金	ストラップ
クラブ数	64	45
金額	10,577,137	1,940,000

MEMO

Vol.07　（2012/07/02）
We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）
2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会

支援金に関するメモその５（委員会内資料）

１．2011-2012 熊澤ガバナー年度の支援金

1）クラブからの支援金：10,737,137 円(64 クラブ)
2）浜辺と海をきれいにする会：100,000 円
3）地区広報・ＩＣ委員会：22,000 円
4）10・11ｸﾞﾙｰﾌﾟ内クラブ寄付(ｺﾞﾙﾌ)：116,660 円
5）ＪＧＦＲ北海道大会(ｺﾞﾙﾌ)：103,000 円
6）貯金利息：1,491 円

計　10,737,137＋100,000＋22,000＋116,660＋103,000＋1,491＝11,080,288 円

目標金額：1,000 万円（達成率 111％）

２．2012-2013 年度引継ぎ金額

★入金
1）2010-2011 年佐々木正丞ガバナー年度支援金：20,663,603 円
2）2011-2012 年熊澤隆樹ガバナー年度支援金：11,080,288 円
計：20,663,603 円＋11,080,288＝31,743,891 円

★出金
0）ガバナー会寄付：1,722,500 円
1）放射線測定器：940,480 円
2）飯館村車両：2,998,700 円
3）いわき海星水産高校の校舎復旧支援プロジェクト：4,000,000 円
4）福島キッズキャンプ：4,500,000 万円
5）福島アンダー18 検査・登録移動車両支援プロジェクト：2,500,000 円
6）支援ストラップ：500,000 円
計　1,722,50＋940,480＋2,998,700＋4,000,000＋4,500,000＋2,500,000＋500,000＝17,161,680 円
備考　1）～6）計：940,480＋2,998,700＋4,000,000＋4,500,000＋2,500,000＋500,000＝15,439,180 円

★引継ぎ金額：31,743,891－17,161,680＝14,582,211 円

３支援ストラップ

購入本数：2500 本（購入費 50 万円）　　サンプル数：118 本，販売総数：1962 本，残数：420 本
販売総数：1962 本：45 クラブ(1940 本),地区大会ブース(22 本)

MEMO

Vol.07　（2012/07/02）
We are one ～みんな、ひとつ～

国際ロータリー第 2510 地区（北海道西部）

2011-2012 年度
大震災救援奉仕プロジェクト委員会

４．2011-2012 年度クラブ別支援金まとめ

G	クラブ	支援金	ストラップ
1	深川	203,580	40,000
	羽幌	200,000	0
	妹背牛	10,000	10,000
	留萌	23,615	0
2	赤平	112,000	0
	芦別	124,000	10,000
	砂川	50,000	50,000
	滝川	60,000	60,000
3	美唄	170,000	20,000
	江別	1,020,000	20,000
	江別西	670,000	30,000
	岩見沢	420,000	80,000
	岩見沢東	118,000	30,000
	栗沢	115,000	0
	栗山	100,000	0
	当別	96,700	0
4	札幌	670,000	130,000
	札幌あけぼの	0	0
	札幌はまなす	110,000	20,000
	札幌北	340,000	40,000
	札幌モーニング	126,800	30,000
	札幌西	0	0
	札幌西北	135,000	0
	札幌手稲	166,287	40,000
5	札幌東	469,391	90,000
	札幌清田	98,000	20,000
	札幌幌南	291,000	50,000
	札幌真駒内	98,000	60,000
	札幌南	442,000	0
	札幌大通公園	60,000	10,000
	札幌セントラル	0	0
	新札幌	140,000	10,000
6	岩内	300,000	0
	倶知安	0	0
	小樽	310,000	70,000
	小樽南	300,000	300,000
	小樽銭函	80,000	80,000
	蘭越	0	0
	余市	140,000	40,000

G	クラブ	支援金	ストラップ
7	千歳	50,000	50,000
	千歳セントラル	30,000	30,000
	恵庭	96,000	0
	北広島	10,000	10,000
	長沼	20,000	20,000
	由仁	10,000	10,000
8	えりも	30,000	30,000
	三石	20,000	20,000
	様似	0	0
	静内	200,000	0
	浦河	0	0
9	伊達	40,000	40,000
	室蘭	331,000	0
	室蘭東	160,000	0
	室蘭北	90,000	20,000
	登別	0	0
	洞爺湖	60,000	10,000
10	函館	76,375	30,000
	函館亀田	284,115	110,000
	森	22,260	0
	七飯	87,210	0
	長万部	52,337	10,000
	函館セントラル	310,325	30,000
11	江差	26,347	0
	函館五稜郭	195,382	40,000
	函館東	142,666	0
	函館北	94,767	10,000
	北斗	29,275	20,000
	松前	1,855	0
12	白老	89,450	30,000
	苫小牧	214,650	50,000
	苫小牧東	87,400	0
	苫小牧北	106,350	30,000

項目	支援金	ストラップ
クラブ数	64	45
金額	10,737,137	1,940,000

第2530地区（福島県）南相馬市視察報告

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会
副委員長 **堀 江 和 美**
（砂川RC）

2011年３月11日に発生した「東日本大震災」の被害地域の一つである第2530地区（福島県）内の南相馬市（緊急時避難準備区域）を2011年６月10日（金）に、佐々木ガバナー、熊澤ガバナー・エレクト、出村地区財団委員、竹原札幌北ＲＣ会長、佐々木札幌北ＲＣ幹事、佐々木札幌北ＲＣ職業奉仕委員長と私の計６名で、被災地の方々から生の声を聴き、どのような支援ができるかを探るべく視察訪問をした。

福島空港で味戸パスト・ガバナー、須賀川ぼたんＲＣの方々から出迎えを受け、郡山市までの移動中の味戸須賀川ぼたんＲＣ会長の「淡々としながらも復興に前向きの被害状態説明」に徐々に緊張感が高まった。

郡山市で根本ガバナー・エレクトらと打ち合わせ南相馬市に向かった。南相馬市の視察場所まで２時間30分間、自己紹介、今回の視察の目的などを話し合ったが、『福島に目を向けてくれてうれしく思います。勇気がでます。』には感動した。

南相馬市内に到着してからは、酒井ガバナー補佐（南相馬市区域）の案内で、1）福島第１原発20km圏内（立入り区域）の境界、2）津波被害で集落がなくなった場所、3）船が陸地に残された場所、4）有名なサーフボードポイントの北泉の被害、5）北泉にある火力発電所の被害などを丁寧な説明を受けながら視察をした。津波被害報道に接していたわけであるが、現地に行くとその被害の大きさに、「絶句」するばかりであった。

この視察では、放射線を測定しながらのバス移動であった。郡山市付近では、ほぼ正常値（0.03マイクロシーベルト／時）を示していたが、南相馬市に向かう途中の「計画的避難区域（放射線が高い区域）」では、1.2マイクロシーベルト／時と値が跳ね上がる。口には出せないが、それは恐怖であった。

津波による被害にはもちろんだが、この「見えない恐怖」である放射線は、大人にも、子供にも大きく影響を与えている。

本視察の目的は、「どのような支援ができるかを探る」ことであったが、「放射線測定器」を寄贈し、使用していただくことは、「見えない恐怖」の放射線に対しての被爆量制御はもちろんのこと、心のケアーに貢献できるものと強く感じた。

なお、視察後に開かれた当該委員会では、会員皆様からの「義援金」を活用しながら、マッチング・グラントによる「放射線測定器寄贈」プロジェクトを鋭意模索中である。

最後に、言い尽くせないほどお世話になった関係者各位に心から感謝申し上げたい。（2011年６月19日記）

RID2530（福島）への「放射線測定器」贈呈式報告

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会
副委員長 堀 江 和 美（砂川RC）

被災地のニーズを把握するため、2011年6月10日（金）に行った福島県相馬市視察を通して、「放射線測定器」を寄贈し、使用していただくことは、「見えない恐怖」の放射線に対しての被爆量制御はもちろんのこと、心のケアーに貢献できるものと強く感じ、RID2530（福島）、RID3340（タイ王国）と当地区で、ロータリー財団のマッチング・グラント（MG）による「放射線測定器寄贈」プロジェクトを立ち上げ、異例の速さの承認をいただき、この度、2011年8月29日（月）に、福島県の須賀川ぼたんRC、郡山西RCの保育所・幼稚園等で贈呈式が行われました。（＜7つのクラブと地区による合同奉仕プロジュクト＞と呼称）

ラティーマ女史　タイ王国の子ども達の絵とメッセージを贈呈

参加メンバーは、当地区から、熊澤ガバナー、久保田直前地区代表幹事、高橋札幌北RC会長、竹原札幌北RC直前会長、佐々木札幌北RC会員、若原札幌東RC国際奉仕委員長、出村財団委員、堀江の8名、RID2530（福島）から、根本ガバナーを含め15名、そして、タイ王国からラティーマ女史（ノンカイRC）を含め3名です。

贈呈品として、原子力発電所、核燃料や核成分施設、核廃棄物処理施設、放射線源管理、核医学、環境モニタリング組織向けに特別に設計された商品名「DoseRAE2」の測定器120台（説明書は和訳、ストラップ付）と、タイ王国の子ども達の絵とメッセージが用意されました。

測定器

贈呈は1）郡山市大成保育所、2）郡山市ニコニコ子供館、3）福島県郡山養護学校、4）特別養護老人ホーム「愛寿園」の4つの会場で行なわれました。

郡山市大成保育所の園児や福島県郡山養護学校の児童達の元気な様子に安心しましたが、これからも「見えない恐怖」は続くのだという思いは強く、少しでも「放射線測定器」がお役に立てればと感じたところです。そして、歓迎していただいた園児・児童の姿を通して、目をウルウルさせながら、「元気をもらったのは私達だ！」と参加者全員の心に刻まれました。

郡山市ニコニコ子供館での贈呈式

最後に、言い尽くせないほどお世話になった関係者各位に心から感謝申し上げます。

東日本大震災に対する復興支援について

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長 阪崎健治朗
（札幌西ＲＣ）

東日本一帯及び北海道南部に大地震が発生してすでに８ヶ月が経過した。長い歴史の中でこれほどの被害に見舞われたことは、数えるほどの経験でしかなかった。ようやく国や地方自治体の指針と具体策が提示され、復興への足がかりを掴みつつあるが、しかしまだ全貌や先行きへの見通しなどは掴みきれていない、のが現状ではないか。

当地区は、発生から２週間足らずで佐々木直前ガバナー、熊澤ガバナーの強い指導によって公式の委員会を立ち上げ、直ちに支援活動を開始した。混乱と自失の被災地の方々に思いを寄せるべく、困難な道のりを覚悟して活動に着手した。

すでに各クラブは全面的な協力と共に痛みを分かち合おうと立ち上がられ、義援金や物資支援、姉妹関係のあるクラブの友情の支援。さらに諸外国からの応援を受けて、地区あげて取り組んできた。その背後にロータリーの熱い志を感じ、多くのロータリアンや被災から立ち上がろうとする方々に感銘を与えた。

しかし、時の経過と共に次第に情報が減少し、多少風化現象を危惧しなくもない。

今回、当委員会はもう一度、活動の現状をお伝えし、各クラブが奮い立っていただくようお願いする次第である。

◆ 支援活動の現状報告

1　基本姿勢は、被災地にあるロータリー地区を主体に支援活動を続ける。とりわけ福島県を第一義にし、岩手、宮城への取り組みも視野に止めておく。

2　「義援金」の考え方から、具体的な活動を提示し、「支援金」として募金することに改める。

3　今年度は、1000万円とする。(12月末を目途とする)。
なお地震当初集められた義援金は、その後の経緯を検討された結果、各地区に返戻するとの決定に従い、12,949,055円が戻された。その後募金に応じてくださった分も含め、現在約1800万円を預かっている。但し、本年度の目標額1000万円は本来の募金として別途要請する。

4　支援金使途は、第１弾として、すでに被災地のロータリー地区またはクラブの要望に従い、福島県南相馬市の現地視察後、被災地ニーズから、幼稚園、保育所に「放射線測定器」120機を贈呈した。このプロジェクトはロータリー財団の奨励するマッチング・グラントを活用し実現したものである。福島県の「須賀川ぼたんＲＣと群馬西ＲＣ」を中心に要望を集約すると、1）ＲＩＤ2530（福島県）の須賀川ぼたんＲＣ、郡山西ＲＣ、2）Bangkok Klonthey ＲＣ、Thailand NONG KHAI-ＲＣ、3）札幌北ＲＣ、ＲＩＤ2510 (北海道西部) の協働作業で、「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を用いた多国間支援となった。合計811万円分を贈呈した。内訳は、1）Ｒ財団（387万円）、2）D2510地区資金（ＤＤＦ）(270万円)、3）地区義援金 (90万円)、4）札幌北ＲＣ（64万円）となった。(熊澤ガバナー月信第4号（2011年10月）参照)

経験したことであるが、被災地の関係者は、初期支援を過ぎ、落ち着きを取り戻しておられるが、それでもさまざまな苦難を背負って何が求められているのか、さえ回答を見出せないでおられる事である。そこで支援の第２弾は、東京電力福島第１原子力発電所から放出される放射能による汚染対策が喫緊の課題であることが伝わってきた。「除染装置」を検討している。

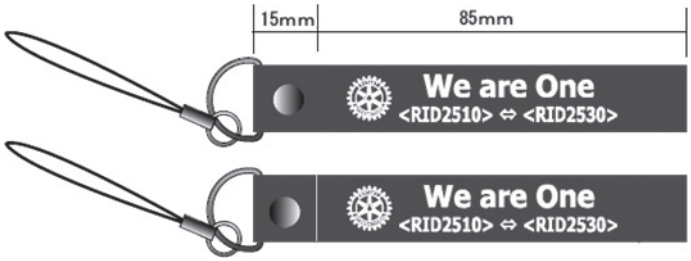
◆ **今後の支援活動への取り組み**

1　目標は、改めて1000万円の支援活動募金を継続する。

2　第２弾支援活動　福島・ＲＩ第2530地区から要望がある「除染装置」を支援する。

3　そのために広報活動を強化する。今後現地の情報や各クラブの活動を毎月11日に「ＮＥＷＳ」を発行する。委員会のホームページをご覧いただきたい。
ＵＲＬ：http://rid2510.org/disaster-relief/

4　支援金の一部としてグッズ販売をする。携帯品にアクセサリーとして取り付ける「ストラップ」を作成した。１本1000円で、10本１組で１口以上お買い求めいただきたい。申込用紙等をご活用いただきたい。
ＵＲＬ：http://rid2510.org/disaster-relief/?page_id=330



5　この機会に個人的金銭のご負担よりも具体的な支援金確保のためにクラブの創意工夫に期待したい。例えば、イベントやチャリティプログラム、ガレージセール、例会昼食の節食分、ゴルフプレイの際の互助募金など。

6　連絡先　　ガバナー事務所（札幌市中央区大通西11丁目・大通藤井ビル）
ＦＡＸ　０１１−２０７−２５１２

7　振込先　　北洋銀行石山通支店（４７８）口座番号　普通　３８２５２７１
ＲＩＤ２５１０大震災救援奉仕プロジェクト委員会　委員長 阪崎健治朗
（フリカナ：アールアイディ二ゴイチゼロダイシンサイ・・）

まとめとして、「We are one ～みんな、ひとつ～」をキーワードの共有をしたい。

「東日本震災復興基金」を活用し被災地区のクラブと共に支援事業実施を

「東日本大震災」未曽有の災害に世界中のロータリアンから、4,072,252ドルの多くの温かい善意の基金が集まりました。 2011年７月１日「ロータリー財団」は「もっと災害を身近で支援しよう」とロータリー財団管理委員会は「小沢一彦」ロータリー管理委員を代表とし「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」US$2,211,934.53と伴に「東日本震災復興基金　日本委員会」と名称を変更、日本で日本の管理委員にて、全国のロータリークラブの皆様とロータリー財団と一緒に東北震災支援へ届けるプログラムを開始致しました。多くのクラブが支援の被災地クラブと共同で補助金申請し支援の手が震災地へ届いています。

特に、被災地区に姉妹クラブ、友好クラブをお持ちの皆様は、是非その友情で共にこの申請にも取り組んで頂けます様お願い致します。また、ロータリー財団東日本震災復興基金の寄付締切は12月末日を予定でしたが、要望が多く2012年６月30日まで延長されることが決まりました。(ポール・ハリス・フェローの認証の対象となるのは12月末日までです)

東日本大震災への取組みについて

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会
委員長 阪崎健治朗
（札幌西ＲＣ）

未曾有の災害が発生した2011年３月11日からもうすぐ１年になろうとしています。被災に遭遇された方々が、大変な現状に深く胸を痛めながらも、懸命に立ち向かっておられる姿を想像します。そして私達一人一人が、自分に何ができるのだろうか、と今も問い続けておられる方もさぞ多いことだと思います。

「もう一年が」という思いと「まだ一年」という時間の流れの中で、人びとは今なお苦闘を続けておられるのです。しかし、忌まわしい出来事として思い出したくない方も、また話たくない方もおられるに違いないのです。

すこしずつ記憶は薄らいでいくのはやむをえないことかもしれません。心に残された傷痕は生涯離れることはないことは確かなことです。

ロータリーは、クラブもロータリアンも人と社会に役立てることを理念とし、また献身的なご支援を得て今まで取り組んできましたし、これからも手を休めることはないものと確信しています。日ごとに変化する被災地の状況を丁寧に見つめながら、緊急支援から義援金、そして復旧から復興へと変化の過程を追いながら、支援活動を続けております。

そして何より未来を担う子ども達に寄り添っていきたいという願いも抱き続けてまいりました。

多くの志は、国の内外からも寄せられ、ことに新興国から、今度は自分たちが今まで受けた支援のお返しだと、心温まる支援を目の当たりにしました。

私たちは、人と地域を大事に考え、民間の団体であるロータリーのスケールの良さと力を結集して今も、後も取り組んで行きたいと念じております。

改めて、これまでに取り組んでまいりました活動、あるいはこれから取り組もうとしている支援活動を中間報告の形でご紹介し、今後ともご支援とご協力を切に願うものであります。

① 福島県ＲＩ第2530地区を中核として、福島県郡山市、須賀川市内の保育園、養護学校117カ所に「放射能線量計」の寄贈（MG申請、2011年８月29日贈呈式、最終報告書完了）

② 計画避難区域である福島県飯館村の仮設住宅居住の方々に生活支援の一部として「復興支援車両２台寄贈（納車済み、１月19日贈呈式）

③ 福島の子ども達約60名を春と夏、雄大な北海道に招待し、しばし思い出を作ってもらうプロジェクト「福島キッズキャンプＩＮ北海道」を計画中。これには多くのクラブのご支援を期待しています。（ロータリー財団東日本震災復興基金日本委員会承認済、2012年春、夏実施）

④ 将来の水産業の指導者を育成する「いわき海星高校復旧事業」への支援。同校は校舎の一部が崩壊したために目下休校中。教育機材なども支援。（大規模事業に付、イギリスＲ財団他台湾、国内のいくつかの地区クラブが支援申し出あり）

ご理解とご協力の程お願いいたします。

福島キッズキャンプ in 北海道 <春編>

～みなさんのご協力に感謝～

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員
福島キッズキャンプin 北海道
実行委員長 **清 水 哲**
（札幌東ＲＣ）

支援活動の一環として実施しているキャンプの＜春編＞が大震災救援奉仕プロジェクト委員会で企画、奉仕プロジェクト委員会と実行委員会と地区第４、５、６グループとで連携して実行計画をたて、グループ内各クラブにご協力を得て無事終了しましたので、速報と協力の御礼を申し上げます。

当企画は、ロータリー財団東日本震災復興基金日本委員会承認済みの事業で、国際ロータリー第2530地区（福島）と協同で実施しています。春の休暇に内部被曝の恐怖を抱えている福島の子ども達に心を癒し、楽しい時間を過ごしてもらうため、雄大な自然と見所の多い北海道に招聘し、有意義な時を提供することを目的に実施しています。同時に子ども達の甲状腺などの検査を専門のドクターの協力を得て、甲状腺検査なども予定していましたが、春編で招待した飯舘村の子どもたちは、全員甲状腺検査済みでした。

60名以上の募集の中から飯舘村の子ども達（小学校４・５・６年生）33名、ボランティア大人１名、福島大学生ボランティア３名を招待しました。

ロータリークラブメンバーはもとより、飯舘村教育委員会、おたる潮太鼓保存会、キロロリゾート、小樽すし屋通りのお寿司屋さん、石屋製菓、北海道四季劇場、北海高校インターアクトクラブ、北海道神宮など多くの団体や企業の方々に温かいご協力をいただき、感謝。自分もこの活動を通じ人とつながる喜びを感じさせていただきました。

福島キッズキャンプin北海道＜春編＞日程

- 3／27 ▶▶▶▶▶ 空路千歳空港着。千歳セントラルＲＣメンバー有志がお迎え。小樽にて第６グループ主催の歓迎式典（小樽運河での記念撮影、おたる潮太鼓、名前入りストラップ贈呈）。キロロ泊
- 3／28～29 ▶▶ キロロリゾートでインストラクター指導のもとスキー学習。キロロ泊
- 3／30 ▶▶▶▶▶ 小樽水族館見学、目の前で握る寿司を堪能、白い恋人パークで菓子制作体験、冬のスポーツ館見学、バーベキュー体験。ロイトン札幌泊。
- 3／31 ▶▶▶▶▶ 札幌市内でミサンガラリー（大通公園、テレビ塔、時計台、札幌ラーメン共和国、北海道四季劇場のライオンキング鑑賞、第４・５グループ合同ＩＭにてゴール）。
  北海高校インターアクトメンバー企画、司会による、さよならパーティ。ロイトン札幌泊。
- 4／1 ▶▶▶▶▶▶ ホテル出発式、北海道神宮に絵馬奉納、円山動物園観覧、空路福島へ。

『福島キッズキャンプin北海道』第6グループ活動報告

第2510地区　第6グループ
ガバナー補佐　谷内　馨一
（小樽ＲＣ）

３月27日、千歳空港に着いた33名の子ども達、付き添いの福島大学ボランティア等４名は早速小樽へ直行、予定通り14：30分小樽運河に到着しました。第６グループ各クラブ総意で迎えようという呼びかけに応じて頂き、グループ内７クラブの会長・幹事・他会員皆様の出迎えを受ける中、やや緊張の面持ちの子ども達が姿を見せてくれました。

小樽運河を背景に記念撮影後、経済センタービルへ移動し、当企画の開会式・歓迎会を開催。子ども達が入場すると同時に中学生達が主体になった「おたる潮太鼓」が力強く響き、この日の子ども達を歓迎すると共に励ましの音を響かせてくれました。熊澤ガバナーの歓迎の言葉、そして各クラブ会長のお国自慢による歓迎挨拶後、子ども達の個人名が刻まれたストラップをお土産として差し上げ、最後に子ども達の代表者から『皆さん、この度は本当にありがとうございました。今日からの北海道をたくさん楽しんで帰ります』という元気な挨拶の後に、一路スキー場赤井川キロロリゾートへと向かいました。快晴に恵まれた28日～ 29日の２日間、スキー場でインストラクター指導のもとに存分にスキーや雪遊びを楽しんだようです。

次いで30日午前中は小樽水族館を見学、お昼は目の前で板前さんが握るお寿司を食べ、小樽の名物を味わって戴きました。やはり福島県の寿司ネタとは違う北海道ネタに思わず子ども達から“おいしい！”という声が上がった時は、裏方の私達も子ども達が喜ぶ顔に安堵とともに互いの顔に満足の笑みを浮かべたものです。別れの際、『みんな元気でね！ またお会いしましょう、さようなら！』と書かれた横断幕で見送り、次の予定地札幌「石屋製菓」へと向かいました。この後は、札幌第４・第５グループが引き継ぎ、第６グループとしての役割はここで終了となりましたが、今回、この趣旨について寿司屋通り数店のお寿司屋さん（代表中村社長）が無料奉仕をして頂き、また、石屋製菓さんには入館料・菓子作り体験料を無料奉仕（特別）して頂きましたこと、そして各報道関係者（事前に取材願いをしており、中でも小樽南クラブのＳＴＶ小樽支局長永原勢子様に感謝＝どさんこワイド放映）の皆様のご協力に心から感謝と御礼を申し上げます。

今回の奉仕事業はまさしくロータリーとして人道奉仕そのものであったと思います。一方で、もしこれがわが身・わが子供達に起きたらどうなるのか、という現実感がありました。地震大国日本、人事ではありません。互いの思いやり・絆を大切にするべきことを心底から教えられた企画でありました。最後に第６グループ各クラブ・会員皆様のご協力に厚く御礼申し上げご報告と致します。

IM報告 第4・第5グループ合同IM開催報告

第2510地区　第5グループ
ガバナー補佐 齋藤康嗣
（札幌真駒内ＲＣ）

第４・第５グループ合同ＩＭが平成24年３月31日（土）に札幌市内ホテルライフォート札幌で開催されました。札幌市内の多くの会員にご登録戴き厚くお礼を申し上げます。

来賓には、熊澤隆樹ガバナー、伊藤義郎国際ロータリー元理事、森本正夫パストガバナー、岩城秀晴パストガバナー、塚原房樹パストガバナー、丸山淳士パストガバナー、矢橋温郎パストガバナー、佐々木正丞パストガバナー、杉江俊太郎地区代表幹事をお迎えし、来賓の挨拶は熊澤隆樹ガバナーと伊藤義郎国際ロータリー元理事から戴きました。

ＩＭの内容は「活力あるクラブをめざして～ロータリーの活動を担う新しい会員を増やそう～」でした。フォーラムにおいては丸山淳士パストガバナーの「会員増強の鍵」の講演の後、４クラブの会員増強委員長による各クラブで実施している会員増強の方法、方策等を討論し、総括は矢橋温郎パストガバナーにまとめて戴きました。各クラブの「会員増強」の参考に成ったかと思います。

基調講演は「安全と安心の社会科学」東日本大震災と福島原発事故について、霜山龍志札幌大通公園ロータリークラブ会長にお願いし、内容のある危機管理についてのご講演を戴きました。講評は熊澤隆樹ガバナーから「会員増強」の強化を各クラブにお願いして結びと致しました。

又、今回は地区大震災救援奉仕プロジエクト委員会が実施致しました「福島のキッズキャンプin北海道」の福島飯舘村の子ども達33名を、ＩＭ会場内の多数のロータリアンの皆様で大きな拍手でお迎え致しました。熊澤隆樹ガバナーから歓迎の挨拶の後、国際ロータリー第2530地区を代表致しまして福島県郡山西ロータリークラブ安藤元二会員から福島の状況とお礼の言葉がありました。

その後、子ども達全員から元気な挨拶「ロータリーのお兄さん、お姉さんありがとうございました」があり、地区のロータリアンに感謝しておりました。

最後に、ＩＭ会場内のロータリアンの皆様で福島が元気になるように大きな拍手で激励致しました。なお皆様から戴きました登録料内から子ども達に記念品を贈ったことをご報告致します。

北海道神宮の絵馬に、子ども達が願いを書いた内容に「福島の復興」が多くあり、これから日本を背負う子ども達に希望を与えることが、我々の責務であると考えます。

最後に、ＩＭに登録、参加戴きました皆様に深く感謝致しましてご報告とさせて戴きます。